

平成28年度

足立区立元淵江公園・生物園 指定管理業務

年度業務報告書

指定管理者

体験型いきものパークマネジメント

東京都立川市錦町2-1-22

代表 株式会社自然教育研究センター

代表取締役 税所 功一

印



平成28年度 元漕江公園・生物園
指定管理業務 報告書

目 次

第一章 利用促進・教育普及業務

I	長期方針と平成28年度の活動	
	1.長期方針	1
	2.今年度の活動	1
	(1) 重点的取り組み	
	(2) 平成28年度の数値目標	
	(3) 業務実施計画	
	(4) 行事計画	
II	受付業務	
	1.受付窓口	7
	(1) 年間入園者数の月別推移とその傾向	
	(2) 入園料収入	
	(3) インフォメーションの対応実績	
	(4) 来園者の声	
	2. ミュージアムショップの利用状況と売上実績	18
	(1) 利用状況	
	(2) 販売状況	
	(3) 商品展開	
III	展示解説業務	
	1. 展示解説実施および対応実績	23
	2. 夜間特別開園の実施	28
	(1) ホタル見 night! の夜間特別開園	
	(2) 光の祭典夜間特別開園	
	3. 自主事業の実施	29
	(1) 特別イベント	
	(2) ふれあいプログラム	
	(3) 導入型プログラム	
	(4) 発展型プログラム	
	4. 区民協働活動の推進・支援	32
	(1) 昆虫飼育ボランティア	
	(2) 生きものふれあいボランティア	
	(3) 公園花壇ボランティア	
	5. 団体対応	34
	(1) 団体プログラム	
	(2) 出張授業	

(3) 教職員向け講座	
(4) 実習対応	
6. 展示による解説	36
(1) 常設展	
(2) 企画展・特別展	
7. 印刷物による解説	38
(1) セルフガイド	
(2) ニュースレター	
8. 連携事業	40

IV 広報活動

1. メディア対応と掲載・放映の実績	45
(1) メディアへの情報発信	
(2) 掲載・放映実績	
2. ホームページによる情報発信	47
(1) ホームページアクセス数	
(2) ホームページのリニューアル	
3. ポスター・チラシ等による情報発信	49
(1) ポスター	
(2) ニュースレター	
(3) チラシ	
(4) 中吊り広告	
(5) デジタルサイネージ	

第二章 生物飼育業務

I 生物飼育業務

1. 平成 28 年度の飼育状況	53
(1) 昆虫類	
(2) 両生爬虫類	
(3) 水族	
(4) 鳥類哺乳類	
2. 各飼育区分の飼育種数および頭数のリスト	54
(1) チョウ類の年間飼育種数および頭数のリスト	
(2) 水生昆虫類の年間飼育種数および頭数のリスト	
(3) 陸生昆虫類の年間飼育種数および頭数のリスト	
(4) 両生爬虫類の年間飼育種数および頭数のリスト	
(5) 水族の年間飼育種数および頭数のリスト	
(6) 鳥類の年間飼育種数および頭数のリスト	
(7) 哺乳類の年間飼育種数および頭数のリスト	
3. 特記事項	63
(1) チョウ類の月別放蝶実績	
(2) ツシマウラボシシジミの生息域外保全	

- (3) ホタルの飼育展示実績
- (4) 「ホタルのタベ」実現に向けたとりくみ
- (5) 観察展示室「水族エリア」「両生類爬虫類の世界」の水槽改修について
- (6) ピラルクーの成長実績
- (7) ヤドクガエル類の繁殖成功
- (8) チャボの新規導入
- (9) 鳥インフルエンザ対応

第三章 施設維持管理業務

I 元渚江公園の維持管理業務

- 1. 公園管理上の留意事項 69
- 2. 公園維持管理業務の主な内容 69
- 3. 平成 28 年度施設管理業務実施報告（元渚江公園） 72
- 4. 公園維持管理作業の様子 73

II 生物園の維持管理業務

- 1. 生物園維持管理業務の内容 79
- 2. 平成 28 年度施設管理業務実施報告（生物園） 80
- 3. 生物園維持管理作業の様子 81

第一章 利用促進・教育普及業務

I 長期方針と平成 28 年度の活動

1. 長期方針

『体験型いきものパーク』実現に向けて4つの機能を充実させます

本共同体は、指定管理業務期間である5年間の中で、元湊江公園および、生物園に『レクリエーションの場としての機能』、『環境学習の拠点としての機能』、『自然科学博物館としての機能』、『生物多様性保全の拠点としての機能』を位置づけ、『体験型いきものパーク』の実現を目指していきます。

2. 今年度の活動

(1) 重点的取り組み

今年度は、観察展示室の展示リニューアルによる集客および、教育効果の増大に加え、元湊江公園の活性化とPRの拡充を重点事項として取り組んでいきます。

① 自主事業の拡充

● わんフェス

平成 27 年度開催の内容に加えて、帝京科学大学との連携でさらに事業の拡充を図ります。また、多くの団体が参加しやすい秋季に開催を予定します。

● 大型イベント第3弾「さくらフェスタ」開催（平成 29 年 3～4 月）

元湊江公園の桜を「桜フェスティバル」と称して、積極的にPRします。「舎人公園千本桜まつり」や「花めぐりバス」と連動して開催し、桜の観察会やライトアップを実施します。

② 公園花壇ボランティアの導入

元湊江公園のファンを増やすための花壇づくりの一環として、公園花壇ボランティアを導入します。区民の方が自らの手で種をまき、水やりをし、除草を行って美しい花壇を維持することは、公園に愛着を持つことにつながり、長期的には公園の活性化にもつながることであると考えます。

③ 連携事業の拡充

● 特別展「金魚」

大水槽で展示中の金魚の多くを寄贈していただいた株式会社ヨシダにご協力いただき、秋に特別展を開催します。金魚の歴史や品種、足立区と金魚の関わり等、金魚の

魅力を多角的に伝えていきたいと考えています。

- 教育利用研究会

保育士や教員などの教育関係者に集まっていただき、生物園や元湊江公園での環境教育プログラムの開発に協力していただきます。現場の教員の意見が反映されたプログラムが提供できることは保育園、幼稚園、小学校などの利用促進に直結していると考えています。

④ さらなる来園者増に向けての取り組み

- ホームページのリニューアル（平成 28 年 6 月運用開始）

デザインやコンテンツを一新し、広報効果を高めます。また、作成に際しては、シテプロモーション課にご助言をいただきながら進めていきたいと考えています。

- 閑散期の取り組み

昨年度の傾向から梅雨の時期である 6 月から 7 月と最も寒い 1 月から 2 月に来園者の落ち込みが見られたため、それぞれに対策を講じます。

- 6～7 月の来園者増加のための対策

『スタンプキャンペーン』として、ポイントカードを導入します。雨の日に来園された方には 2 倍のスタンプを進呈し、5 個数集めると、生きもののグッズと交換できるようにします。

- 1～2 月の来園者増加のための対策

2 月に移動動物園とポニー乗馬を集中して開催し、1 月からそのための広報を強化して、この期間の来園者増につなげます。また、移動動物園での展示動物についてもより集客力のある種類を東武動物公園と再検討していきます。

⑤ 展示リニューアル

- 観察展示室（水族エリア）

老朽化が著しかった観察展示室の水槽を改修することにより展示のリニューアルを行います。来園者からの要望が多かったクラゲ水槽を新設するなどして、来園者増につなげる展示を実現させます。

- 観察展示室（両生・爬虫類エリア）

生物園のバックヤードでは、多くの生物が飼育されています。特に両生類、爬虫類の中には、集客効果が期待できるにもかかわらず、設備がなく展示できない生物がいます。そこで設備を改修することにより、特定動物（ビルマニシキヘビ、ボアコンストリクター）の展示を実現させます。

(2) 平成28年度の数値目標

① 目標入園者数：190,000人

本共同体は指定管理期間である5年間で入園者数を20万人まで増加させることを目標とし、それを実現させるため、今年度は19万人を目指します。

② 生物園目標収入額：33,250,000円

安定的な生物園の運営を可能にするため、入園料収入やミュージアムショップ、自主事業収入などの増収により収入（指定管理料を除く）を前年度比+150万円を目標収入額とします。

③ ミュージアムショップ目標収入額：8,000,000円

ミュージアムショップは生物園運営上、重要な収入源になっています。利用者のニーズを汲み取り、魅力的かつ、生物園らしい環境教育に資する商品を充実させることで、前年度比+50万円の収入増を目指します。

④ 目標年間対応率：100%以上

来園される全ての方に生物園の魅力を伝え、生物や生命の尊さに気付いてもらうため、解説員や飼育員などによる対応をできるかぎり行えるよう努力していきたいと考えています。そこで、総入園者数に対する延べ対応者数の割合が100%を超えることを目標とします。なお、対応者数としてカウントするのは下記の通りです。

インフォメーション：受付での「見どころ紹介」「イベント案内」「展示案内」など

レンジャートーク：解説員による「生物解説」「質問対応」「展示解説」など

プログラム：対象者のレベルに応じて「導入型」「発展型」「セルフ」など

⑤ 発展型プログラムの目標応募率：120%以上

発展型プログラムは、あらかじめそのテーマに関心を持った方を対象に、より高度な内容で実施するため、募集形式を事前申込にしています。そのため応募状況がそのプログラムの人気（ニーズ）のひとつの目安となります。そこで、定員に対する応募者数の割合を応募率とし、それが120%を超えるよう、タイトルや内容、広報などを工夫していきます。

⑥ 導入型プログラムの目標参加率：100%

気軽に参加でき、生物や生命に関心を持つきっかけとなるよう、導入型プログラムは当日申込の形式をとっています。休日には、このプログラムの参加を目的に来園される方も多くいます。

天候などに影響を受けることもありますが、プログラムのニーズの目安として、定員に対する参加者数の割合を参加率とし、それが100%に達するよう努力します。

(4) 平成 28 年度行事計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	金	日	水	1	月	木	1	火	木	1	水	水
2	土	月	木	2	火	金	2	水	金	2	木	木
3	日	火	金	3	水	土	3	木	土	3	金	金
4	月	水	土	4	木	日	4	火	日	4	土	土
5	火	木	日	5	金	月	5	水	月	5	木	日
6	水	金	月	6	水	火	6	木	火	6	金	月
7	木	土	火	7	木	水	7	金	水	7	土	火
8	金	日	水	8	金	木	8	土	木	8	水	水
9	土	月	木	9	土	金	9	日	金	9	木	木
10	日	火	金	10	日	土	10	月	土	10	火	金
11	月	水	土	11	月	日	11	火	日	11	水	土
12	火	木	日	12	火	月	12	水	月	12	木	日
13	水	金	月	13	水	火	13	木	火	13	金	月
14	木	土	火	14	木	水	14	金	水	14	土	火
15	金	日	水	15	金	木	15	土	木	15	日	水
16	土	月	木	16	土	金	16	日	金	16	月	木
17	日	火	金	17	日	土	17	月	土	17	火	金
18	月	水	土	18	月	日	18	火	日	18	水	土
19	火	木	日	19	火	月	19	水	月	19	木	日
20	水	金	月	20	水	火	20	木	火	20	金	月
21	木	土	火	21	木	水	21	金	水	21	土	火
22	金	日	水	22	金	木	22	土	木	22	日	水
23	土	月	木	23	土	金	23	日	金	23	月	木
24	日	火	金	24	日	土	24	月	土	24	火	金
25	月	水	土	25	月	日	25	火	日	25	水	土
26	火	木	日	26	火	月	26	水	月	26	木	日
27	水	金	月	27	水	火	27	木	火	27	金	月
28	木	土	火	28	木	水	28	金	水	28	土	火
29	金	日	水	29	金	木	29	土	木	29	日	水
30	土	月	木	30	土	金	30	日	金	30	月	木
		火		31	日		31	月		31	火	



Ⅱ 受付業務

1. 受付窓口

(1) 年間入園者数の月別推移とその傾向

今年度の生物園総入園者数は 207,850 人（月平均 17320.8 人）、平成 27 年度比 109.8% でした。今年度は月別入園者数の平均化が更に図られ、梅雨時期の落ち込みも改善された結果、目標入園者数の 190,000 人を大きく超えることができ、対目標値は+17,850 人（109.4%）となりました。

3 月 19 日（日）には、設立以来初となる年間入園者数 20 万人を達成することができました。20 万人目に認定されたのは、区内在住のご一家で、当日のセレモニーと 3 月 26 日（日）に開催した記念植樹にもご参加いただきました。

入園者の増加要因は以下のことが考えられます。

- ・梅雨時期（6 月、7 月）の入園者数増加を目的として「スタンプキャンペーン」を実施し、好評だった。
- ・NHK 首都圏ネットワークや、テレビ東京「アド街ック天国」、NHK-BS プレミアム「美の壺」、NHK ラジオ「夏休み子ども科学電話相談」などに出演し、大きな反響を得られた。
- ・生物園の PR を目的とした出張生物園をこれまで継続している大型商業施設に加えて、新規に住宅展示場（環七・加平）でも開催した。
- ・「光の祭典」のリニューアル効果が大きく、生物園の夜間来園者の増加につながった。
- ・大型イベント「わんフェス」や上州屋共催の「家族でつり教室」に加えて、新規の「さくらフェスタ」の広報効果が大きかった。
- ・3/27 を臨時開園し、春休み中は無休とした。また、「さくらフェスタ」での夜間開園を実施。

平成 28 年度 生物園入園状況一覧表

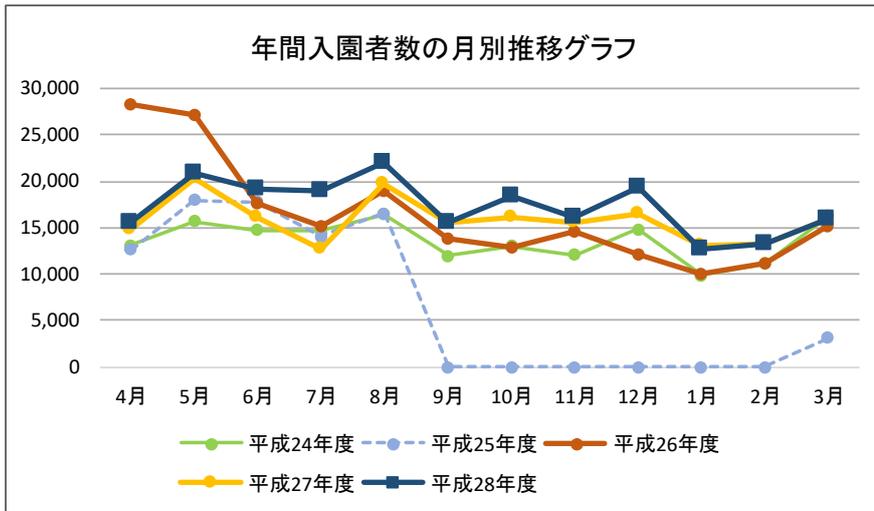
(単位：人)

月	有料入園									無料入園										総入園者数 (A+B)					
	一般料金				団体料金		人数合計 (A)			入園料免除				パスポート入園		人数合計 (B)									
	一日券		パスポート購入		大人	小人	大人	小人	合計	申請書		幼児	高齢	身障		大人	小人	大人	小人	大人	小人	合計	大人	小人	合計
	大人	小人	大人	小人						大人	小人			大人	小人										
4	4,512	1,473	186	106	30	11	4,728	1,590	6,318	856	646	4,802	385	265	135	1,538	557	3,044	6,140	9,184	7,772	7,730	15,502		
5	6,640	2,334	278	113	166	0	7,084	2,447	9,531	890	303	6,812	363	515	108	1,826	547	3,594	7,770	11,364	10,678	10,217	20,895		
6	6,066	1,503	243	88	150	30	6,459	1,621	8,080	1,149	677	5,888	427	500	88	1,666	700	3,742	7,353	11,095	10,201	8,974	19,175		
7	5,499	1,706	257	86	0	27	5,756	1,819	7,575	698	500	6,197	380	475	67	2,010	1,023	3,563	7,787	11,350	9,319	9,606	18,925		
8	7,781	2,920	224	89	0	0	8,005	3,009	11,014	611	561	6,451	470	474	131	1,534	698	3,089	7,841	10,930	11,094	10,850	21,944		
9	4,891	1,238	174	40	24	6	5,089	1,284	6,373	723	1,227	4,794	228	321	63	1,330	425	2,602	6,509	9,111	7,691	7,793	15,484		
10	4,951	1,275	202	44	127	9	5,280	1,328	6,608	1,216	1,416	6,223	399	481	61	1,549	388	3,645	8,088	11,733	8,925	9,416	18,341		
11	4,580	1,212	181	37	54	23	4,815	1,272	6,087	858	993	5,509	340	467	101	1,509	302	3,174	6,905	10,079	7,989	8,177	16,166		
12	6,376	2,146	154	25	0	0	6,530	2,171	8,701	1,469	694	5,479	546	475	70	1,586	382	4,076	6,625	10,701	10,606	8,796	19,402		
1	3,971	1,042	205	28	0	0	4,176	1,070	5,246	476	567	4,301	231	349	68	1,196	319	2,252	5,255	7,507	6,428	6,325	12,753		
2	3,858	813	157	17	12	13	4,027	843	4,870	619	452	5,074	247	305	67	1,333	336	2,504	5,929	8,433	6,531	6,772	13,303		
3	4,641	1,300	186	37	23	2	4,850	1,339	6,189	713	292	5,953	299	397	64	1,593	460	3,002	6,769	9,771	7,852	8,108	15,960		
計	63,766	18,962	2,447	710	586	121	66,799	19,793	86,592	10,278	8,328	67,483	4,315	5,024	1,023	18,670	6,137	38,287	82,971	121,258	105,086	102,764	207,850		

平成28年度と過去4年間の月別入園者数推移の比較

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成24年度	13,116	15,652	14,708	14,650	16,421	11,966	12,978	12,056	14,815	9,876	11,097	16,220	163,555
(24年度累計)	13,116	28,768	43,476	58,126	74,547	86,513	99,491	111,547	126,362	136,238	147,335	163,555	
平成25年度	12,610	17,916	17,762	14,059	16,553	0	0	0	0	0	0	3,069	81,969
(25年度累計)	12,610	30,526	48,288	62,347	78,900	78,900	78,900	78,900	78,900	78,900	78,900	81,969	
平成26年度	28,313	27,196	17,612	15,180	19,051	13,846	12,913	14,649	12,097	10,059	11,103	15,115	197,134
(26年度累計)	28,313	55,509	73,121	88,301	107,352	121,198	134,111	148,760	160,857	170,916	182,019	197,134	
平成27年度	14,727	20,362	16,024	12,676	19,628	15,519	16,076	15,528	16,524	13,034	13,189	15,994	189,281
(27年度累計)	14,727	35,089	51,113	63,789	83,417	98,936	115,012	130,540	147,064	160,098	173,287	189,281	
平成28年度	15,502	20,895	19,175	18,925	21,944	15,484	18,341	16,166	19,402	12,753	13,303	15,960	207,850
(28年度累計)	15,502	36,397	55,572	74,497	96,441	111,925	130,266	146,432	165,834	178,587	191,890	207,850	
前年同月比%	105.2	102.6	119.6	149.2	111.7	99.7	114.0	104.1	117.4	97.8	100.8	99.7	
前年同月累計比%	105.2	103.7	108.7	116.7	115.6	113.1	113.2	112.1	112.7	111.5	110.7	109.8	



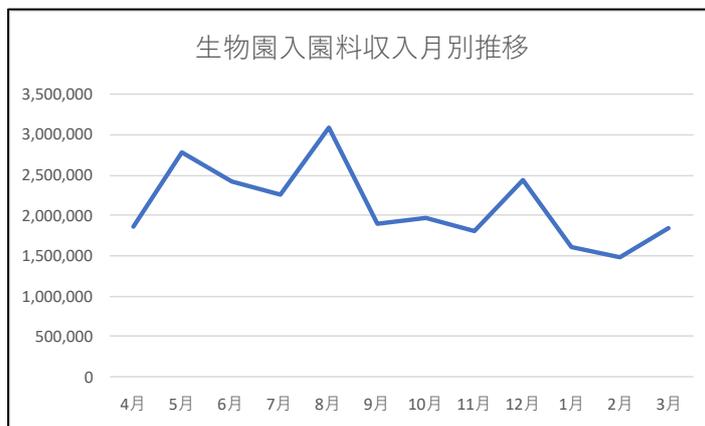
(2) 入園料収入

今年度の生物園の入園料収入は 25,465,800 円で、昨年度比+2,301,000 円 (109.9%) となりました。9月、10月は保育園や幼稚園、小学校などの入園料免除対象団体の利用が多かったため、入園者数と比較すると収入額が低かったものの、8月と12月で収入を大きく伸ばすことができました。

平成28年度 生物園入園料収入

(単位:円)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1,868,450	2,776,700	2,422,650	2,268,300	3,094,500	1,891,200	1,971,650	1,808,300	2,434,500	1,610,400	1,481,650	1,837,500	25,465,800



(3) インフォメーションの対応実績

受付では入園券の受け取りや年間パスポート作成の他に、来園者に対して、利用やイベント、展示情報などニーズに合わせた適切な情報提供も行っています。今年度受付で対応したインフォメーションの実績は、年間 137,882 回 141,035 人になりました。

生物園の入り口に位置する受付は、来園者にとって最も生物園の印象を受けやすい場のひとつとなります。そのため「元気に笑顔で…」をモットーに積極的な接客対応を心がけました。来園者と直接コミュニケーションをとることで要望や意見を敏感に察知し、利用者サービスの向上につながるよう努めました。

また、今年度は防犯にも力を入れ、不審者対策として刺股を設置したり、警察官による指導を受けるなどの準備を行いました。幸い刺股を使用するような事態は発生しませんでした。来園者の安全確保も受付の重要な役割であると考えています。

インフォメーション対応実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	10,972	14,523	15,253	13,114	13,740	10,790	11,667	11,401	10,109	7,810	8,040	10,463	137,882
大人	6,903	9,770	9,211	8,293	8,655	6,803	6,756	7,142	6,935	4,481	4,866	6,067	85,882
子ども	4,347	5,232	6,796	5,289	5,385	4,257	5,304	4,751	3,108	2,867	3,205	4,612	55,153
計	11,250	15,002	16,007	13,582	14,040	11,060	12,060	11,893	10,043	7,348	8,071	10,679	141,035

(4) 来園者の声

来園者に、より満足していただけるように、来園者の要望を真剣に考え、来園者が求めている要望を超えたサービスを提供できるよう心がけた対応を行ないました。

月例会議にて区へ報告、提案し、改善へつなげることで、来園者へのサービス向上に努めました。会議で取り上げた1年間のお客様の声を以下の表にまとめました。

要望

	お客様の声	年齢	性別	対応	結果
4月	リスが見えない	10	男性	隠れ場所が必要。	済
	地下1階の生きものが入っている水槽の壁紙が黒色だったので写真が撮りにくかった。	9	男性	生きものを目立たせるため、黒や青の壁紙の展示はよくある。生きものの展示に一番映える色なので、変更の予定はない。今後複数意見があれば検討する。	済
	犬を増やしてください。	10	女性	現状展示スペースの確保が難しい。	済
5月	おむつ替えや授乳室があつて助かります。せっかくランチスペースがあるので売店でおにぎりやパン・弁当も売ってほしい。(足立区の障害者の方が作っているパンなど)	30	女性	土日はパンの販売を行っているが売れ残る時もある。賞味期限があり難しいが、オザムとの連携の可能性などを検討する。	
	うつぼを増やしてほしいです。うつぼのグッズをたくさん売ってほしいです。	14	女性	お土産研究会で検討する。	

5月	生物園もしくは元湊江公園行のバスを運行してほしい。区の巡回バスとか。	40代	男性	東武バスへの働きかけを継続する。	
	放蝶プログラムの導線確保をしてほしい。	30代	女性	場所としては今の位置が迂回もできる唯一の場所となっている。混雑時、アナウンスや人の増員を検討する。	済
	ザリガニをもっと増やしてください。そうでないとエサをあげてもお腹がいっぱいで食べません。	3	女性	入れ替え頻度を増やすなどで対応する。	済
	固形石鹸でなく液体石鹸にしてほしい	不明	女性	6月16日より泡ハンドソープに切り替え済み。	済
	池の周りの私物を撤去してほしい	70代	男性	6月16日に撤去を行った。残っている私物については引き続き警告を掲示していく。	済
	ゴミ箱が少ない。	30代 30代	女性	一階は飲食禁止。入口にゴミ箱の設置はしている。	済
	大温室にネズミがいる。		女性	イカリ消毒に依頼をしたり、ワナを仕掛けたりもしてきたが良い駆除方法が見つからない。引き続き対策を検討していく。	済
6月	コガタズメバチを見たい	8	男性	危険なので難しい。標本の展示なら。	済
	蝶の種類のボードに食草も説明してほしい。	62	女性	同じボードに盛り込むのは難しいので、植物自体につけられるか検討中。	
	オオムラサキが見たいです。	5	女性	昆虫ドームにて7月より展示予定。	済
	カブトガニを観察したいです。(腹側とか)	50	—	6月の標本展にて標本の展示をしていた。良く見たい方はスタッフにお声がけできれば対応している。	済
	チョウの飼育の手伝いに参加してみたい。	9	女性	祝日を除く火曜から金曜の14時から16時に実施している。対象は小学生。告知は飼育室の前に看板を出して行っている。	済
	カピバラ・コツメカワウソが見たい。	7	女性	飼育スペースの問題など現状難しい。	済
	2階バタフライガーデンで閉じ込められた。何とかしてほしい。	40代	男性	*7月2日クレーム有り 取り急ぎ、鍵を覆うカバーを作成し、様子見。 →その後、鍵が閉まらないよう対応済み。	済
	公園内でAM6:30頃ネコに餌やりをしている人を見かけるが、餌やり禁止の看板を設置することはできないか。	50代	男性	エサやりが禁止されていない為看板の設置は難しい。 6月24日の朝園長より口頭で伝える予定。	済
7月	公園内のみんなのトイレを夕方利用したい。		女性	だれでもトイレに張り紙を設置し16時半以降は生物園のトイレを利用して頂く。冬季も5時までは生物園のトイレを利用して頂けるようにする。(公園トイレも16時→16時半まで延長した)	済

7月	カブトがいたけどクワガタも見たい！	10	男性	要望をもらったのは7月2日だったが、7月21日～9月4日までむしむしコーナーで“カブトムシクワガタムシ展”を行い、オオクワガタを展示している。昆虫ドームだとクワガタは危険。	済
	ハツカネズミが見たい。生きものガイドで色々な生きものとふれあいたい。	8	女性	ネズミ年が来たら検討	済
	生物園の昆虫ドームにてカブトムシに触ることができ、3歳の息子が大変喜んでいました。是非また行きたいのですが、いつまで触れますでしょうか。	30～40代	女性	夏休み期間中なら昆虫ドームでご覧いただける。また、お声がけ頂ければ室内飼育の個体をお見せすることも可能。	済
	カエルアンコウ、ムラサキシヤチホコが見たい。かくれんぼ上手な昆虫を展示してほしい。	8	男性	カエルアンコウは水質にシビアで個別の水槽が必要になる為スペース的に難しい。以前行ったことがあるが、擬態をテーマにした展示を検討してみる。	済
	ハリネズミが見たい。	小学生くらい		ネズミ年が来たら検討。ヒメハリテンレックならいるので状況によって可能。	済
	コーンスネーク、ニシキヘビが見たい。	13	男性	ニシキヘビは現在展示中	済
	以前あったようなナナフシ部屋を作ってほしい。	25	女性	人の体について、外に出してしまう。沖縄の虫が外に出るのは問題。大温室で見られる。	済
ウチワザメが見たいです。	—	女性	現在展示中	済	
8月	バスを直通にしてほしい	70代	女性	引き続き課題として検討してい	
	ミルク用のお湯が欲しい	20代	女性	ポットを置くのは安全管理上危険。お声がけ頂ければ、事務所のお湯を分けている。ミルクルームにその旨張り紙を設置する。	済
	大きな川魚なども見てみたいです。	15歳	女性	ピラルクを展示している。	済
	ワシを見たい！	10歳	男性	現状難しい	済
	お土産を増やしてほしい	11歳	女性	生物園で販売する意味のある物、生物園らしさを大切に内容を考えていく。	済
	もう少しイベントを増やしてください。	—	—	イベントは現状たくさん行っている…。	済
	娘がヤギが好きなのでヒツジと一緒に導入して下さい。	40歳	男性	現在ヤギは検討中→2017年4月に導入決定	済
	アロワナのえさやりがしたい	—	—	アロワナは跳ねたりする為、安全管理上、大型魚類のエサやりで見て頂くのが良い。	済
	かくれんぼ上手の昆虫を見たいです。	8歳	男性	擬態をテーマにした企画展を実施出来ないか検討していく。	
	モルモットの世話をしてみたい	8歳	女性	子供飼育員になろうでモルモットも取り入れている。	済
チョウを放すイベントをAM中にもやってほしい。	39歳	女性	その日羽化したチョウを放しており、羽化が午前中な為、羽化したてを放すことは難しく午後の適した時間に行っている。この理由を掲載する。	済	
9月	ショーが見たい	32	男性	第1土曜日にヒツジのショーを開催している。また、移動動物園にてオットセイやフクロウのショーを行っている。	済

9月	うらがわの参加人数を増やしてほしい！	9	女性	バックヤードで行っているため、適切な人数でないと危険。現在の人数設定が適切。	済
	チョウをさわられるようにしてほしい	11	女性	飛べなくなったり、死んでしまうので難しい。現在プログラムで触り方を教えたりしている。	済
	屋外にも秋の虫を放してほしい	62	男性	昆虫ドームで実施している。(鳴く虫など)	済
	ネコがいるなら犬もぜひ	31	女性	噛む可能性が0ではないので危険。	済
	バス専用の駐車場に一般の駐車場も作ってほしい	30代	男性	満車になる時期もあり、現状スペース的に厳しい。	済
	トイレにおむつ自販機が欲しい	30代	女性	区内の施設でオムツの設置をおこなっている例はないか。区の担当者に確認中。	
10月	昨日の台風で傷ついたカモがいるが、生物園で保護できる	40代	女性	環境局 鳥獣保護担当へ連絡するよう連絡先を伝えた。	済
	植物の名前が知りたいので、ネームカードをお願いしたいです。	66歳	女性	温室は古くて落ちてしまったものも多く、全部には付いていない。種名がわかるものから整理して付けていく。庭園の植物については種類がわかるので付ける。また、何で付けるか、素材も検討していく。	
	わんフェスがあるならにゃんフェスもあるといいです。	9歳	女性	ネコのイベントは規模は小さいが色々な場所で行われている(主に譲渡会やグッズの販売)。また、散歩の習慣もなく、喧嘩や感染症の問題などもある。しかし、声も多く、地域ネコの問題などもある為保健所と連携して小規模でもできないか検討していく。	
	青虫、いも虫を見やすい場所に展示出来たらお願いします。放チョウのお姉さん、話を半分にして頂くか、先にチョウを放させて頂けたら、小さな子に優しいかなと思いました。	44歳	女性	飼育室の見やすい位置には展示済みだが、キャプションをつけてさらに見やすさをUPさせる。スタッフは、個々の知識・経験を高め、集まった客層を見て飽きさせない話し方や内容を工夫していく。	済
11月	カミツキガメやワニガメ、アカミミガメ、アカハラガメなどの外来種の亀を展示してほしい。	13歳	男性	園長ガイドや裏側探検ツアーで見学してもらえるよう検討していく。	
	カメにエサやりがしたい。	43歳	女性	基本的には、職員による餌やりを見学してもらっているが、“生きものへクリスマスプレゼント”のプログラムでは子供達にリクガメへの餌やりを体験してもらっている。安全管理と対応人数の問題で生物園では現状のまま行う予定。ただし出張生物においては積極的に対応していく。	済
	大人でも楽しめる工作のイベントがあったら嬉しいです。作った後も使ったり飾ったりできるものだとなお良い。	24歳	女性	レザークラフト、蜜蝋キャンドル作り、羊のクラフトなど大人も一緒に楽しめるイベントを開催している。	済
	展示の説明文の文字をもう少し大きくできませんでしょうか？	63	男性	解説パネルのフォントなどを検討し、統一させるようにする。	済

12月	虫に負担がない程度のふれあいをしたい。	23	女性	行っている。(ゴキブリなど)	済
	トイレに手の乾燥機をつけて欲しい。	8	女性	区内の他施設との関係もあるので、いったん区で確認。→今後さらにたくさんの要望が出れば検討していく。	済
	いきものパンの種類を増やしてほしい。(限定で)フクちゃんなど。	7	女性	年々増やしている。直近1年間で3種類追加。今後お客様の声を聞き、増やす種類を決められないかも検討していく。	
	来春も寄せ植え教室をやってほしいです。	60代	女性	開催予定。	済
	記入する時に老眼鏡が使いたい。	70代	女性	受付に用意し、希望者に貸し出す。(2017年2月1日より貸出開始)	済
	英語のパンフレットありますか？	70代	男性	多言語化対応の1つとして今後検討が必要だが、まだ具体的な話は出来ていない。今後検討していく。	
	イルミネーション時の公園の物産展の期間を延ばしてほしい。(多数)	—	—	観光交流課に拠点公園係より伝える。(ゴミ箱増設の件と合わせて)	済
	公園北東側のケヤキの落ち葉が飛んでくる。東側にもネットをつけて欲しい。また、日陰になり寒い。	—	—	東側は団体駐車場の出入り口となっている為ネットの設置は難しい。頻繁に落ち葉の掃除を行い、近隣宅へ広がらないよう対応している。高所作業車を入れ、剪定・間引きも視野に入れて検討していく。	済
1月	まわっている際にどこに何があるのかが分かりづらかったのでマップを色んな所に設置してほしいです。	20歳	男性	パンフレットと同じ館内図を各所に掲示し、現在地がわかるようにする。2月中旬に。	済
	チョウの飼育室にあるような『質問コーナー』を他の場所にも作ってほしい。	9歳	女性	生きもの研究室には解説員が常駐している。また、あだちの生きもの観察室でも飼育作業中は質問をできるので、解説員に聞いて下さいと案内を出す。	済
	オカメインコのオリジナルグッズが欲しい	30歳	女性	リフレクター(反射板)などすでに開発済みのオリジナル商品もある。今後お土産研究会で検討していきます。	済
2月	動物をいじめている子がいるので解説してほしい。	42	女性	引き続き見回りを続け、対応していく	済
	蝶の種類を増やしてほしい。	71	男性	現在年間約50種類と全国でもトップレベルとなる。時期によってはどうしても少なくなる期間はあるが、出来る限り検討していく。	
	観察展示室に飾ってあった生物をもうちょっと飾ってほしい。(2月12日)	8	男性	お客様により楽しんでいただくため、2月1日より改修工事に入り爬虫類の展示を一時的に中止している。4月上旬には完成予定!	
	ネコの毛がついたので、ガムテープを貸してほしい。	30代	女性	ガムテープを貸し出し、対応済み。ネコセットの中にもコロコロの用意あり。→猫部屋の入口に案内を掲示する。	済

意見・感想

	お客様の声	年齢	性別	対応	結果
4月	公園のチューリップが綺麗！	60代	女性		済
	ツシマウラボシジミを見に京都から来ました。	70代	男性		済
5月	くさかったです。ちょうの所がデンジャラスでした。	11	男性	匂いの出所がわからない。	済
	オーストラリアドームの展示方法が良くない。以前の鳥がたくさんいて自然の状態の方が好きだった。	60代	男性	改修工事に伴いほとんどの鳥をあげてしまった。また、オーストラリアしぼりがある為、種類も限定されている。	済
	以前より利用しにくくなった。	36	男性	詳細が分からない。 駐車場が有料になったからか？ (この方が車で来園していた)	済
6月	ネコの部屋が臭く、触りたいけど衛生面が気になります。	30	女性	週に1回殺菌消毒を行っている為、衛生面での問題はない。	済
	観察展示室の下にもぐる水槽を出るときに子供が頭をぶつけてしまった。下面はスポンジが貼ってあるが、上の部分は鉄骨が出ていて危ない。	—	—	上の部分にスポンジをつけた。	済
	公園内のバイク置き場以外の場所にバイクが停めてあり、子供が遊んで危ない。	70代	男性	『バイクはバイク置き場に駐輪してください。』という張り紙を今後別の場所での駐輪が確認された際貼り付ける。	済
7月	ヘラクレスオオカブトをさわりたいイベントに行きたいです。	9	男性	9月4日までの土日祝13:30～“生きものオリンピック展”にてにふれあいをやっている。	済
	雨の日はポイントが2倍になるというのがお得だと思います！	9	女性		済
	元渚江公園の管理や清掃をしている人の感じが悪い。挨拶しても無視するので怖くて散歩もできない。なんであの人たちを雇うのか、おかしい。	30代	男性	スタッフへ確認及び情報の共有を行った。 スタッフに高齢の方が多くという事もあり、耳の聞こえが悪い方もいる。また、作業中は作業音で聞き取れないこともある。 スタッフとわかるような物を身に着けるようにする。	済
	2階の飲食スペースにあるカタツムリやダンゴムシの展示場所を変えてほしいです。小バエなどが飛んでいることが多く、せっかく売店で買ったクッキーやアイスを食べるのに少し残念な気持ちになります。	27	女性	ハエよけシートをフタとケースの間に挟み、内側からのハエの発生を防いだ。	済
8月	外のカブトムシシーズンにもう少し生き物があると嬉しい	31歳	女性	8月28日のご意見だった。時期的にどうしてもカブトムシは少なくなってしまう。最盛期の案内や、その他の生きものの案内を設置できるか検討する。	済
	ハチミチが売り切れていて残念だった。	20代	女性	販売が目的でない為数には限りがある。しかし、例年60ビンのところ今年は230ビン販売しており、販売期間も一ヶ月ほどあった。	済

9月	生物園は、洪水の時の避難場所になっていますか？	30代	女性	災害対策課と企画調整課が区の施設を避難場所として指定はしているが、生物園が何か対応をするなどの明確な決まりはない。近くにある安全な避難場所を見つけておいてもらう。	済
	小学生が鉛筆を持って走り回っていて危なかった	—	女性	引き続き注意を続ける。団体へはウェルカムトーク時に説明している。	済
10月	いきものパンが美味しかった。	8歳	女性		済
	大型バスのエンジン音がうるさい (近隣住民より電話あり)	—	—	団体の予約が入り、車の予約があった際、アイドリングストップをお願いする。	済
	ネコのふれあいコーナーもっと猫を触りたかったです。座ってからはか触れなかったのでつまらない。	32歳	女性	現状の対応を続ける	済
	オーストラリアの動物のコーナーを見てすごく悲しくなりました。私はオーストラリアのパスに住んでいます。カンガルー、ワラビーは草の上で寝転がったり、草を食べる動物です。ここでは砂土でかわいそうです。ブラックスワンも大きな湖でゆったりと泳いでいます。オーストラリアのワイルドフラワー、植物を植えたらどうですか？カンガルー、ワラビーはオーストラリアでは子供の手からエサがあげられます。せっかく珍しい動物が足立区にいるので大切にしたいです。	42歳	女性	オーストラリアの動物園が草地だけでなく野生化では草地だけではない。ワラビーなど岩場や砂地にいることもある。オーストラリアの植物は植えているが食べられてしまう。手からのエサやりなどはもっと広い面積がないと人と動物の逃げ場がなく危険。上記により要望への対応は現状難しい。立体感を出すため 上;オカメ・セキセイ、下;ワラビー・カンガルー、中;検討する。	済
11月	とても楽しかったです。私の区にもこういうの欲しい。	60歳	男性	(江東区在住の方)	済
	イルミネーションが去年より良くなった。きれい。	70代	女性		済
12月	蛹のツリーがきれい(多数)	—	—		済
	ホテルの観賞、赤い照明を完全におとしてほしかった。	—	—	真っ暗にすると小さいお子様が怖がって泣いてしまったりする為つけているが、大人が多い時など客層を見て、スタッフが明るさの調整をしている。	済
1月	小動物のふれあいはなるべく短時間(できれば30分以内)。冬季・夏季の気候の厳しい時は避け、春秋の温和な気候に限定した方がベターでは。	57歳	男性	ストレスを軽減するよう個体のローテーションを行っている。(モルモット・うさぎ)	済
	ホテルが観れて良かった。	大人多数		—	済
	エレベーターの場所がわかりにくい。	30代	女性	パンフレットと同じ館内図を各所に掲示し、現在地がわかるようにする。春休みまでに。	済

2月	早く鳥インフルがなくなってフクロウが見たい。	45	女性	鳥インフルエンザが終息し次第展示を再開するのでもう少々お待ちください。	済
	本が面白かった。	8	女性		済
	アルパカを見に来ました。(多数)	—	—		済
	大きいサイズのロッカーがあると便利	30代	男性	ロッカーに入らない大きいサイズの物は受付にてお預かりしております。	済
	むしむしコーナーの看板がなくて分かりづらい。	30代	男性	HP、園内MAPなどに至急追加致します。	済
	座る場所が少ない。	60代	夫婦	生物園内はどうしてもスペースが限られてしまう。再入園も出来るので、公園内のベンチもご活用ください。2階バタフライガーデン前などに増やせないか検討する。	

感謝・お礼

	お客様の声	年齢	性別	対応	結果
5月	子供が初めて動物にふれることが出来ました。ありがとう！本日もカニ釣りが行われていなかったの次で期待しています。	43	男性	ホタル見が終わり次第再開する。	済
9月	想像以上の施設に子供達も大喜びでした。ぜひまた来園したいと思います。	33歳	男性		
	係の方も親切で居心地がよかったです。	35	女性		
10月	キアゲハの事を教えてくれてありがとうございました。キアゲハの自由研究をやり越谷市の科学展覧会に出展しました。嬉しかったです。感謝の気持ちを伝えたくてこの手紙を書きました。どうもありがとうございました。(一部省略)	小3	女性		
	娘が池に落ちた際、洋服を貸していただきありがとうございました。また子供と一緒に遊びに行きたいと考えています。	—	—		

また、お客様の満足度を把握するために、通常取り上げられないポジティブなご意見の割合を次の表にまとめました。

ポジティブな意見・感想

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
楽しかった	14	11	12	20	22	6	8	13	6	14	13	9
素晴らしい	1	0	2	1	3	0	4	2	2	3	2	0
動物がかわいかった	0	2	1	2	5	9	3	1	3	1	4	4
説明が良かった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子供が喜んでた	0	0	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0
勉強になった	1	0	2	1	1	1	0	1	1	0	1	0
蝶々がきれい	1	0	1	0	2	0	0	1	1	1	0	0
展示方法が良い	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0
イベントがたくさんで良い	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
施設が綺麗	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
トイレが綺麗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
触合える距離が近くていい	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
色んな動物が見れて良かった	0	0	0	3	1	0	0	2	0	1	0	1
パンが美味しかった	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
金魚がすごい	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ホタルがすごい	0	0	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0
イルミがきれい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
お土産がかわいい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	18	15	26	30	37	17	18	20	15	20	21	14

○回収枚数	70	70	71	112	115	82	71	53	68	59	68	58
○有効枚数	66	63	62	105	103	75	61	44	60	54	62	45
○割合(全体)	25.7%	21.4%	36.6%	26.8%	32.2%	20.7%	25.4%	37.7%	22.1%	33.9%	30.9%	24.1%
○割合(有効)	27.3%	23.8%	41.9%	28.6%	35.9%	22.7%	29.5%	45.5%	25.0%	37.0%	33.9%	31.1%

(* 有効枚数: アンケート回収枚数からいたずら書きなどを除いたもの。)



一年間を通じての割合は28.0%で、平成27年度の29.6%をわずかに下回りました。しかし、昨年度と比較し、年間来園者数は増加しているものの、アンケートの年間回収枚数は約8%減少していること、また、アンケートの性質上初来園のお客様が回答する機会が多いと思われることから、既に満足し、何度もご来園いただいているリピーターのお客様が増えたとも考えられます。

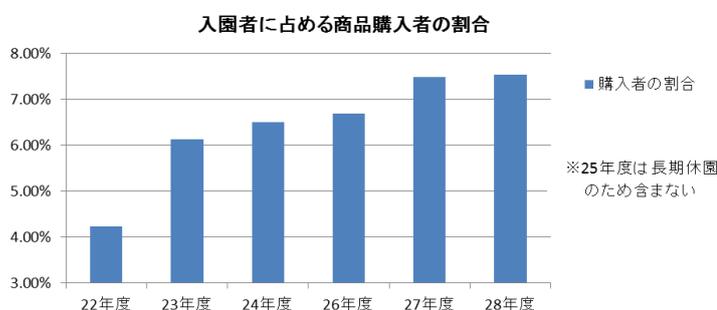
月別の推移については、例年同様、夏休み期間である7~8月に多くの回答をいただいております。また、月毎の満足度については、数年間データを蓄積し、考察していければと思っておりますが、27年度満足度の低かった6月“24.6%”と2月“14.3%”が、28年度には向上し、6月“41.9%”、2月“33.9%”となりました。満足度向上の理由として、28年度は、毎年入園者数が落ち込む梅雨時期に、新しくスタンプキャンペーンを行ったこと、2月にポニー乗馬や移動動物園などのイベントを集中させたことなどが考えられます。

2.ミュージアムショップの利用状況と売上実績

(1) 利用状況

平成 28 年度のミュージアムショップ（以下ショップ）利用者数は 44,307 人、商品購入者数は 15,657 人でした。ここでのショップ利用者とは、ショップ内に立ち入り、商品を眺める、触れる、商品についてスタッフに尋ねるといった行動をした人数を指します。全入園者数に対して、ショップを利用したのは約 21%、ショップで商品を購入したのは約 7.5%にあたります。全入園者には、校外学習で訪れた幼稚園生や小学生、介護施設の団体利用などショップに立ち寄らない利用者も含まれます。教育関係や介護施設といった免除申請の利用者を引いた入園者数でみると、ショップを利用したのは約 40%、商品を購入したのが約 14%となります。

全入園者数に占めるショップ購入者の割合を年度別に表したのが以下のグラフです。平成 22 年度は 4.2%でしたが毎年増加し続けており、平成 28 年度は過去最高の 7.5%となりました。ミュージアムショップの存在が多くのお客様に認知され、頻繁にお立ち寄りいただけるようリピーターのお客様が増えたことも一つの理由と考えられます。

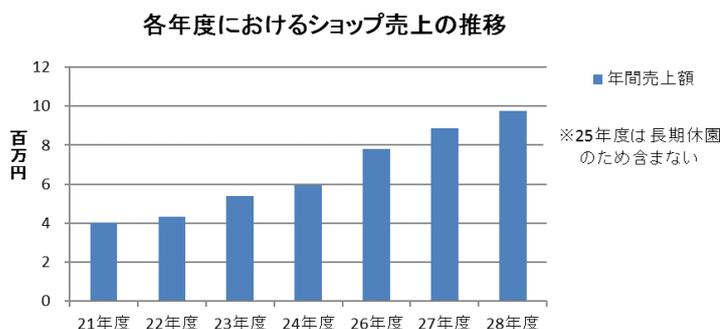


(2) 販売状況

① 年間売上額

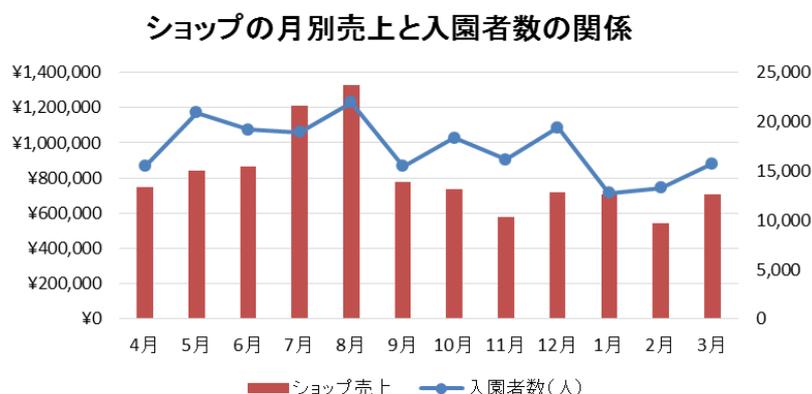
平成 28 年度のショップ売上額は 9,756,914 円で、当初の目標であった売上 800 万円を大きく上回りました。このショップ売上額には、食品およびミュージアムショップの前に設置されているカプセル商材（ガチャ）の売上額を含んでいます。また、足立区の有料頒布物「荒川の昔」はショップで販売していますが、別会計で売上を全て区に納めているため、ショップの売上には含まれません。

ミュージアムショップ開設から平成 28 年度までの、各年度におけるショップ年間売上額の推移をまとめたものが以下のグラフです。平成 21 年度の開設以来、毎年売上を伸ばしています。平成 28 年度は過去最多の入園者数ということもあり、ミュージアムショップでの売上額もその影響を大きく受けたと考えられます。



② 月別販売状況

各月のショップ売上額と入園者数を比較したものが次のグラフです。



昨年度と比較して6月、7月の売上額が大きく伸びました。特に7月は前年同月と比較して172%と、大幅に増加しています。この理由の一つとして、「生物園スタンプキャンペーン」による入園者数の増加が挙げられます。平成28年度は、例年入園者数の落ち込む梅雨の時期に「生物園スタンプキャンペーン」を行うことで入園者数が伸びたため、それがミュージアムショップの売上にも良い影響を及ぼしたと考えられます。また、昨年度までは秋に販売していた「生物園のはちみつ」の発売時期を7月に変更し、販売個数を昨年45個から229個へと大幅に増やしたことも、売上増加の要因と言えるでしょう。

しかし、11月や2月といった長期休みや夜間開園などのイベントがない月の売り上げは昨年度と比べて低くなりました。今後は、これらの月に魅力的な新商品を発売する、購買意欲向上のキャンペーンを実施するなど、売上改善の取り組みを検討してまいります。

③ 客単価

客単価はショップの売上額をのべ購入者数で割ったものです。平成28年度平均客単価は昨年度とほとんど変わらず、623円でした。



客単価が最も高かったのは1月で、676円でした。1月は冬季の売り上げ改善を狙い、1,000円以上をお買い上げの方にくじ引きでプレゼントを差し上げる「お年玉くじキャンペーン」を企画したため、「もう少し何か買って1,000円以上にしよう」というお客様が多く、結果として客単価が高くなったといえます。

年間で販売した商品数は33,320個、購入者数が延べ15,650人であることから、1回の購入個数は平均2個程度とみなせます。客単価が623円ということと合わせると、150～400円程度の比較的単価の低い商品を、2,3個購入されるお客様が多いと考えられます。実際に商品ごとの売上個数をみると、上位10位の商品は全て500円以下のものでした。特に、いきものパンやクッキー、ドライフルーツは、様々な種類を展開して選べるようにしたためか、お一人で3つ、4つとお買い上げになるお客様が多くいらっしゃいました。今後も、こうした売れ筋価格を意識した商品展開を行うことが求められます。

(3) 商品展開

ミュージアムショップは単なる「お土産屋さん」ではなく、生物園での体験や感動をアフターフォローできるようなグッズを提供することを目指しています。平成28年度は初めて本格的な標本の販売を開始したほか、生物園ならではのオリジナル商品の開発にも力を入れました。

① 取り扱い商品について

平成28年度に取り扱った商品は53法人441種で、6法人が新たに取り先業者として加わりました。以下が新たにお取引を開始した企業一覧です。このうち、(株)プロファックスジャパン、ニットキュア(株)、(株)びっぐびっぐ・じー・りーだー、の3社は足立区内の中小企業です。(地元企業との取引詳細は「連携事業」に別途記載)

平成28年度新規取引先一覧		
取引先名	取り扱い商品	説明
木村藤香	昆虫のポストカード	チョウ類保全協会会員、昆虫写真家
(株)プロファックスジャパン	カード、フラワーアイテム	区内のアメニティグッズ製作販売企業
加藤直之	透明骨格標本	手作りの透明骨格標本販売
ニットキュア株式会社	ヒツジの毛を使ったグッズ	区内のニットお直し・加工企業
(株)エファ	大人用くつした	動物園・水族館などへの卸売企業
(株)びっぐびっぐ・じー・りーだー	ガーゼハンカチ	区内の手づくり小物製作販売企業

新規の取り扱い商品で特筆すべきものとして、透明骨格標本があります。「標本があるといいですね。」というご意見は以前からお客様、スタッフ双方より出ており、春の「標本展」でご協力いただいた加藤直之氏と委託販売でお取引をすることになりました。発売当初はメダカやアマガエルなど5種類でしたが、現在はクサフグやサヨリなどを加えた12種類を販売しています。本格的な標本ということもあり、970円～8,000円と高額ですが、大人の方を中心に非常に好評で、39個を販売しました。



販売中の透明骨格標本の一部



木村氏のポストカード

お客様のご要望にお応えして、ポストカードや金魚のエサ、大人用の靴下なども新たに取り扱いました。ポストカードは、お土産に欲しいというお客様が多くいらっしゃり、昆虫写真家でチョウ類保全協会の会員でもある木村藤香氏の作品を発売しました。現在 23 種類を販売しており、ミツバチやアマガエル、ナミアゲハなどが特に人気となっております。靴下は、子ども用のものを以前から販売していましたが、「大人用はないのですか。」という問い合わせが多く寄せられていました。これを受け 28 年度新規取引の卸売業者から、チンアナゴやクマノミなど、生きもの柄のくつした 8 種類を入荷しました。

② 生物園オリジナル商品の開発・販売

施設オリジナルの商品は、そこで体験したことを記憶に留めたり、自宅に帰ってから思い出してもらったりする上で、効果が高いといわれています。また、「ここでしか買えない」という限定感からお土産としても好評です。今年度も、生物園の資源やアイデア、地元企業との関係性を活かしたオリジナル商品の開発に取り組みました。

7 月に、園で飼育するミツバチが集めたはちみつを販売しました。園で採れたはちみつの販売は一昨年、昨年に続く 3 回目ですが、春搾りのはちみつを販売したのは初めてです。毎回すぐに売り切れる人気商品のため、昨年度の 5 倍以上にあたる 229 本を用意しましたが、新聞などを見て遠方から買いに来て下さったお客様も多く、一か月経たずに完売しました。お客様からは、「また販売してくれるのを待っていました。」、など、多くの反響が寄せられました。

土日限定で販売している「いきものパン」は新作のモルモットパンと肉球パンを発売し、全部で 8 種類になりました。中でも昨年のお土産研究会でご提案した「生物園のモルモットが身を寄せ合っている様子を表現したグッズを作りたい。」というアイデアをもとに商品化したモルモットパンは、「かわいい」と大変好評をいただいております。



モルモットパン



リスザルリフレクター

同じくお土産研究会での「新しく生物園に仲間入りしたリスザルのグッズを作りたい。」という提案を受け、リスザルのリフレクター（反射板）も発売されました。生物園の哺乳類飼育担当のスタッフがデザインしたもので、リスザルがよく行う首をかしげる仕種が伝わるようにチェーンを斜めにつけるなど、細部まで工夫されています。

さらに、27年度(株)ワタトーとのコラボレーションで商品化された「ワラビーのおとしもの」のシリーズの第2弾として、コーヒー風味の「ミゼットホースのおすそわけ」を開発しました。ワラビーよりも大粒のミゼットホースの糞を模しており、「ワラビーのおとしもの」と2つ合わせてお土産に買っていかれるお客様も多くいらっしゃいます。



ミゼットホースのおすそわけ

Ⅲ 展示解説業務

1. 展示解説実施および対応実績

生物園・元湊江公園を活用し、数々の催しを開催しました。自主事業では生物園のテーマ「ふれあい・いのち・共生」を踏まえた内容のプログラムを行いました。当日募集のプログラムの中には、未就学児でも楽しめる「ふれあいプログラム」と、生きものに関心や興味を持った方を対象にした「導入型プログラム」の性質が違う2つのプログラムを行いました。また事前募集のプログラムでは生きものや自然により深い興味・関心を持たせる「発展型プログラム」を行いました。

団体向けには通常の生物園内での団体向けプログラムを中心とした団体対応や、小学校へスタッフが赴きプログラムを行う出張授業を行うなど、団体利用を促進しました。

また職場体験やインターンなど中学校や大学・専門学校などで行われる総合学習に対しても積極的に対応を行いました。

生物園以外の施設と連携した施設連携も積極的に行い、園内のプログラムはもちろん他施設へ出張して行うプログラムも行い、お互いの利用促進に努めました。

また区民に向けては生物園・元湊江公園で活動を行うボランティアを飼育系と解説系の2つ運営し活動を行いました。

生物園・元湊公園の魅力やレジャー機能を向上させるために、魅力的な常設展を展開し、また定期的に特別展・企画展を開催することで飽きずに楽しめる運営を心がけました。

平成28年度イベント開催数など

番号	事業	回数	応募者数	参加者数	備考
1	当日募集	60	0	280,857	
2	事前募集	12	709	340	
3	団体対応	11	0	8,749	} 団体対応
4	出張授業	14	0	1,319	
5	総合学習	45	0	114	
6	施設連携	15	0	14,579	
7	ボランティア	3	0	36	登録人数
8	特別展	6	0	0	
9	企画展	29	0	0	
	合計	195	640	305,994	

※数値は環境事務評価の集計方法にのっとり、開催回数は同テーマで行われたプログラムは複数回を1回にまとめて計上しております。

平成 28 年度当日募集イベント開催数

番号	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
	当日募集				
1	カニ釣り	1		34638	毎日開催
2	きっずルーム	1		21885	毎日開催
3	チョウを放そう	1		7177	毎日開催
4	ヒツジのショー	1		761	毎週第1土曜日開催
5	魚のごはん	1		16567	毎日開催
6	昆虫のごはん	1		3964	毎日開催
7	哺乳類ふれあいコーナー	1		98131	毎日開催
8	爬虫類のごはん	1		8746	毎日開催
9	公園の生きもの探しツアー	1		139	毎週第4日曜日開催
10	生きものガイド	1		530	毎週土曜日開催(第3週を除く)
11	アサリ神経衰弱	1		130	奇想天貝展連動プログラム
12	生きものタッチ	1		14365	春のふれあい展連動プログラム
13	うんちの落とし主探し	1		6531	うんち展連動プログラム
14	うんちのにおい	1		2125	うんち展連動プログラム
15	標本解説	1		2777	標本展連動プログラム
16	金魚おりがみ	1		1512	金魚展連動プログラム
17	金魚すくい練習	1		514	金魚展連動プログラム
18	うたの生きもの探し	1		7818	うたのなかの生きもの展連動プログラム
19	俳句をつくってみよう	1		119	うたのなかの生きもの展連動プログラム
20	水辺の生きものふれあい	1		511	水辺の生きもの展連動プログラム
21	荒川カルタ	1		1175	水辺の生きもの展連動プログラム
22	ゴキブリたっち!	1		264	ゴキブリ展連動プログラム
23	カプトムシ・クワガタムシにさわろう	1		554	カプトムシ・クワガタムシ展連動プログラム
24	スポットガイド「公園の自然」	1		112	
25	チョウの飼育体験	1		21	
26	コオロギ相撲	1		18	
27	体験! 生きもの観察会	1		25	
28	こどもクイズ王選手権	1		43	
29	ヒツジの毛刈り	1		416	
30	育てて研究	3		49	
31	はじめての飼育「ダンゴムシ」	1		20	
32	うらがわ探検ツアー	1		184	
33	クリスマス馬車で記念撮影	1		318	
34	まーしー園長のガイドツアー	1		248	
35	ポニー乗馬	1		484	
36	ミツバチの飼育	1		380	
37	ナイトツアー「熱帯の世界」	1		520	
38	ちびっこプログラム	1		569	
39	移動動物園	1		2152	
40	オットセイショー	1		200	
41	オットセイと記念撮影	1		232	
42	出張ブラネタリウム	1		653	
43	ホテルの屋外ミニツアー	1		1448	
44	フェイスベント	1		90	
45	ニシキヘビと記念撮影	1		834	
46	干支の生きものと記念撮影	1		197	
47	おせちにおせち	1		40	
48	生きものにクリスマスプレゼント!	1		19	
49	冬のホテル観賞会	1		5725	
50	星のホテル観賞会	1		3134	

51	金魚すくい	1		9112	
52	ホテル見BOX	1		9950	
53	タッチプール	1		9256	
54	野点	1		61	
55	20万人記念セレモニー	1		110	
56	植樹式	1		60	
57	樹木医デモンstrーション	1		4	
58	わんフェス	1		3240	
	小 計	60		280857	

※数値は環境事務評価の集計方法にのっとり、開催回数は同テーマで行われたプログラムは複数回を1回にまとめて計上しております。実際の開催数は「自主事業の実施」の項目を参照してください。

平成28年度事前募集イベント開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	事前募集				
1	家族でハチミツ搾り	1	194	23	
2	生物園に泊まろう!	1	55	23	
3	セミの羽化観察会	1	76	25	
4	昆虫標本教室	1	25	19	
5	こども飼育員になろう	1	40	18	
6	解剖!魚の研究会	1	29	20	
7	Dream night at the Zoo	1	111	97	
8	ヒツジの毛でクラフト	1	24	20	
9	家族でつり教室	1	103	49	
10	蜜蝋キャンドルを作ろう!In光の祭典	1	10	10	
11	蜜蝋キャンドルを作ろう!	1	22	19	
12	イカスミで書初め	1	20	17	
	小 計	12	709	340	

平成28年度団体対応開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	団体対応				
1	ウェルカムトーク・お見送りトーク	1		5,274	年間数回実施
2	クイズラリー	1		2,149	年間数回実施
3	生物園ガイド	1		210	年間数回実施
4	チョウの一生	1		168	年間数回実施
5	カエルの一生	1		66	
6	昆虫の一生	1		66	
7	ホテルの飼育	1		170	
8	公園の生きもの	1		54	
9	生きものふれあい	1		544	年間数回実施
10	インタープリテーション概論	1		27	
11	教員向け講座	1		21	
	小 計	11	0	8,749	

※数値は環境事務評価の集計方法にのっとり、開催回数は同テーマで行われたプログラムは複数回を1回にまとめて計上しております。実際の開催数は「団体対応」の項目を参照してください。

平成 28 年度出張授業開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
	出張授業				
1	チョウの飼育	6		459	年間数回実施
2	モルモット	5		609	年間数回実施
3	校庭観察	2		180	年間数回実施
4	顕微鏡	1		71	年間数回実施
	小 計	14	0	1,319	

平成 28 年度総合学習開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	総合学習				
1	職場体験	19		31	対応者数
2	職場訪問	11		51	対応者数
3	インターン	11		21	対応者数
4	学芸員実習	4		11	対応者数
	小 計	45	0	114	

平成 28 年度施設連携開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	施設連携				
1	宇宙メダカ・サクラセレモニー	1		90	
2	らんちゅう倶楽部	1		716	
3	レーザークラフト「篠原刃型」	1		191	
4	手づくりはんこワークショップ(安心堂)	1		878	
5	ヒツジの毛でクラフト!「ギャラクシティ」	1		35	
6	出張生物園「ギャラクシティ」	1		437	
7	ホテルnightプラネタリウム「ギャラクシティ」	1		199	
8	秋のブラ音(ネ)タリウム～虫の音night～ 「ギャラクシティ」	1		249	
9	出張生物園「しょうぶ祭り」	1		1,265	
10	出張生物園「バサーゾオ西新井」	1		4,320	
11	出張生物園「環境フェア」	1		1,600	
12	出張生物園「舎人公園」	1		3,631	
13	出張生物園「環七・加平ハウジングギャラリー」	1		34	
14	出張生物園「平野運動場」	1		150	
15	出張生物園「大谷田公園梅まつり」	1		784	
	小 計	15	0	14579	

平成 28 年度ボランティア登録人数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	ボランティア				
1	昆虫飼育ボランティア	1		29	登録人数
2	生きものふれあいボランティア	1		5	登録人数
3	公園管理ボランティア	1		2	登録人数
	小 計	3	0	36	

平成 28 年度特別展・企画展開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	特別展				
1	奇想天貝	1			生きもの研究室
2	生きものタッチ展	1			生きもの研究室
3	生きものオリンピック展	1			生きもの研究室
4	金魚展	1			生きもの研究室
5	うんち展	1			生きもの研究室
6	うたの中の生きもの展	1			生きもの研究室
	企画展				
1	エイプリルフール展	1			園内全体
2	生物園のお父さんを探そう	1			園内全体
3	水辺の生きもの展	1			生きもの研究室
4	標本展	1			生きもの研究室
5	生物園の母の日展	1			休憩コーナー
6	身近な生きもの飼育方	5			休憩コーナー
7	生物園のハロウィン展	1			休憩コーナー
8	生物園のクリスマス展	1			休憩コーナー
9	生物園のお正月展	1			休憩コーナー
10	生物園のバレンタイン展	1			休憩コーナー
11	奇々怪々な「虫」展	1			むしむしコーナー
12	虫のようちえん展	1			むしむしコーナー
13	虫の親子関係展	1			むしむしコーナー
14	カブトムシ・クワガタムシ展	1			むしむしコーナー
15	鳴く虫展	1			むしむしコーナー
16	沖縄の虫たち展	1			むしむしコーナー
17	ゴキブリ展	1			むしむしコーナー
18	ハンターな虫たち展	1			むしむしコーナー
19	いつでもチョウが飛んでいるヒミツ	1			チョウの飼育室
20	チョウを探しに出かけよう	1			チョウの飼育室
21	チョウの自由研究	1			チョウの飼育室
22	いもむし大集合	1			チョウの飼育室
23	いもむし大集合～結果発表～	1			チョウの飼育室
24	チョウの蝶能力	1			チョウの飼育室
25	ツシマウラボシシジミの保全	1			チョウの飼育室
26	七夕	1			であいの広場
27	クリスマス	1			であいの広場
28	ひな祭り	1			であいの広場
29	としの出張 食中植物展	1			大温室前室
	小 計	39			
	合 計	199	709	305,994	

また、これらの展示解説業務の他にも、来園者に対して質問・相談や展示解説を直接聞くレンジャートークを実施する場面を多く提供しました。解説員の常駐する生きもの研究室中心に実施し、解説はもちろん質問や相談の対応も行いました。本年度は年間 55,927 回 118,259 人に実施しました。

レンジャートークの年間対応数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
回数(回)	2,595	5,295	4,899	4,806	6,268	4,409	5,364	4,573	5,571	3,925	4,022	4,200	55,927
対応人数(人)	6,544	10,906	9,492	9,614	13,542	9,326	11,013	9,931	11,666	7,871	8,394	9,960	118,259

2. 夜間特別開園の実施

(1) ホタル見 night!の夜間特別開園

6月3日から19日の金・土・日曜には特別イベント「ホタル見 night!」として夜間特別開園を行いました。実施中は18:00-21:00までの特別夜間開園のほか、大型展示ケースを使った室内での展示「ゲンジボタルの観賞会」を目玉企画として行いました。またホタルにちなんだ展示や「ホタルのガイドツアー」も行い、充実したイベント開催を目指しました。

「ホタル見 night!」に合わせて実施したプログラム実績

内容	実施日	実施回数 (回)	対応人数(人)		
			大人	小人	合計
ゲンジボタルの観賞会	6月3日～6月19日の金・土・日	9	5,943	4,007	9,950
ホタルのガイドツアー	6月3日～6月19日の金・土・日	9	947	501	1,448
	計	18	6,890	4,508	11,398

(2) 光の祭典夜間特別開園

11月27日～12月25日まで元洲江公園で開催される「光の祭典」にあわせ、土・日・祝日に夜間特別開園を行いました。昨年度に続けて「冬のホタル観賞会」と「ナイトツアー—熱帯の世界」も実施しました。

「光の祭典」に合わせて実施したプログラム実績

内容	実施日	実施回数 (回)	対応人数(人)		
			大人	小人	合計
冬のホタル観賞会	11月26日～12月25日の土・日・祝	11	2,977	1,621	4,598
ナイトツアー「熱帯の世界」	11月26日～12月25日の土・日・祝	11	363	268	631
	計	22	3,340	1,889	5,229

3.自主事業の実施

(1) 特別イベント

年に数回大規模なテーマを定めた特別なイベントを行いました。テーマに合った展示はもちろん、さまざまなプログラムもまとめることで、季節ごとに異なる生物園を楽しめるよう工夫しました。

特別イベント開催内容一覧

	区分	内容	実施日
ふれあいキャンペーン 4月6日～5月31日	展示	特別展「生きものタッチ展」	4月6日～5月15日
	プログラム	らんちゅう倶楽部	4月24日
		レザークラフト「篠原刃型」	4月29日,30日
		探して！育てよう！ダンゴムシ	5月5日
		体感！生きものふれあい教室	5月1日
		ヒツジの毛刈り	5月17日
		家族でハチミツ搾り！	5月29日
ホタル見night! 6月3日～6月19日	展示	企画展「水辺の生きもの展」	5月18日～7月10日
	プログラム	ゲンジボタルの観賞会 ホタルのガイドツアー	6月3日～6月19日 の金・土・日
	その他	夜間特別開園	
夏休みキャンペーン 7月16日～8月30日	展示	生きものオリンピック展 企画展「カブトムシ・クワガタムシ展」	7月13日～9月25日 7月12日～9月4日
	プログラム	海の生きものタッチプール	7月21日～8月24日
		昆虫を育てよう！「カブトムシ」	7月18日
		昆虫を育てよう！「チョウ」	7月17日
		昆虫を育てよう！「バッタ」	7月24日
		生物園に泊まろう	7月23日
		公園の生きもの探シツアー「セミ探し」	7月24日
		セミの羽化観察会	7月31日
		昆虫標本教室	8月7日
		こども飼育員になろう	8月10日
		金魚すくい	8月13日～8月15日
		公園の生きもの探シツアー「夏の昆虫」	8月28日
		解剖！魚の研究会	8月21日
		ウインターキャンペーン 11月26日～1月29日	展示
プログラム	冬のホタル観賞会 ナイトツアー「熱帯の世界」		11月26日～12月25日 の土・日・祝
その他	夜間特別開園		
プログラム	蜜蝋キャンドルを作ろう！		12月26日
	蜜蝋キャンドルを作ろう！In光の祭典		12月23日
	生きものへクリスマスプレゼント		12月24日
	来年の干支「酉」チャボと一緒に記念撮影！		11月28日～12月4日(土日)
	おせちにおせち		1月2日
	昼のホタル観賞会		1月2日～1月6日
	こどもクイズ王選手権		1月9日
	コオロギ相撲	1月29日	
	イカスミで書初め	1月15日	
	公園の生きもの探シツアー「冬鳥」	12月25日	
公園の生きもの探シツアー「冬芽」	1月22日		

(2) ふれあいプログラム

ふれあいプログラムは当日募集で、来園者が行える生きものへのエサやりや生きものに直接手でふれ体験できるプログラムです。このような直接的な体験は、未就学児のような低い年齢層の来園者にも、効果的に興味や関心を引き出すことができます。

ふれあいプログラム内容一覧

内容	実施日	実施回数 (回)	対応人数(人)		
			大人	小人	合計
水辺の生きものふれあい	5月19日～7月10日	27	137	374	511
カニ釣り	毎日	206	16,190	18,448	34,638
カブトムシ・クワガタムシにさわろう	7月18日～9月13日	15	224	330	554
きッズルーム	毎日	313	10,333	11,552	21,885
金魚すくい	年間数回	9	4,479	4,633	9,112
クリスマス馬車で記念撮影	12月22日、24日、25日	3	163	155	318
ゴキブリたち！	12月10日～1月15日(土日)	13	123	141	264
タッチプール	7月21日～8月24日	35	3,946	5,310	9,256
チョウを放そう	毎日	312	3,440	3,737	7,177
ヒツジの毛刈り	5月17日	1	215	201	416
ヒツジのショー	毎月第1土曜日	12	394	367	761
魚のごはん	毎日	481	7,945	8,622	16,567
昆虫のごはん	毎日	284	1,484	2,480	3,964
生きものタッチ	4月6日～5月15日	35	6,313	8,052	14,365
哺乳類のふれあいコーナー	毎日	317	45,540	52,591	98,131
爬虫類のごはん	毎日	340	4,274	4,472	8,746
オットセイショー	6月19日	1	100	100	200
オットセイと記念撮影	6月19日	1	75	157	232
おせちにおせち	1月2日	1	22	18	40
干支の生きものと記念撮影	11月26日～12月4日	4	93	104	197
		計	2,410	105,490	121,844
					227,334

本年度は20種類のふれあいプログラムを行い、計2,411回実施し223,698人に対応を行いました。毎日のふれあいや各種生きものの「ごはんの時間」だけでなく、企画展示や季節に合わせたプログラムも実施することで、一年中楽しめるようにしました。

また、今年度は鳥インフルエンザの影響で、干支の生きものプログラムをはじめ、鳥類とのふれあいプログラムの中止がありました。

(3) 導入型プログラム

導入型プログラムは当日募集で気軽に楽しめるプログラムで、生きものに関心や興味を持った方をターゲットとしています。

導入型プログラム対応数一覧

内容	実施日	実施回数 (回)	対応人数(人)		
			大人	小人	合計
公園ツアー	毎月第4日曜日	10	52	87	139
生きものガイド	毎週土曜日※第3を除く	39	217	313	530
まーしー園長のガイドツアー	毎月第1日曜日	12	114	134	248
ちびっこプログラム	毎週水曜日※祝祭日、夏休みを除く	42	270	299	569
うらがわ探検ツアー	毎月第2日曜日	12	77	107	184
標本解説	5月18日～7月10日	43	779	1,998	2,777
俳句をつくってみよう	2月1日～4月2日	19	7	112	119
昼のホテル観賞会	7月2日～7月18日(土日祝)	7	1,721	1,413	3,134
生きものにクリスマスプレゼント！	12月24日	1	0	19	19

植樹式	3月26日	1	30	30	60	
出張プラネタリウム	7月2日、3日	2	330	323	653	
樹木診断デモンストレーション	3月25日	1	2	2	4	
こどもクイズ王選手権!	1月9日	1	0	43	43	
荒川カルタ	5月18日～7月10日	43	360	815	1,175	
金魚すくい練習	9月28日～11月6日	12	167	347	514	
金魚おりがみ	9月28日～11月6日	31	104	1,408	1,512	
ミツバチの飼育	毎週日曜日(雨天、冬季を除く)	23	188	192	380	
育てて研究「チョウ」	7月17日	1	0	15	15	
育てて研究「バッタ」	7月24日	1	0	14	14	
育てて研究「カブトムシ」	7月18日	1	0	20	20	
わんフェス	11月23日	1	1,944	1,296	3,240	
ポニー乗馬	10月30日、2月5日、2月19日	3	0	484	484	
ホタル見BOX	6月3日～6月19日(金土日)	9	5,943	4,007	9,950	
ホタルの屋外ミニツアー	6月3日～6月19日(金土日)	9	947	501	1,448	
冬のホタル観賞会	11月26日～12月25日(期間内土日祝)	14	3,519	2,206	5,725	
フェイスペイント	11月26日	1	5	85	90	
はじめての飼育「ダンゴムシ」	5月5日	1	10	10	20	
野点	3月26日	1	33	28	61	
ニシキヘビと記念撮影	毎月第2日曜日	12	393	441	834	
ナイトツアー「熱帯の世界」	11月26日～12月25日(期間内土日祝)	9	301	219	520	
チョウの飼育体験	不定期	10	1	20	21	
体験!生きものふれあい教室	5月1日	1	6	19	25	
スポットガイド	終日随時	17	27	85	112	
コオロギ相撲	1月29日	1	0	18	18	
うんちのにおい	11月8日～1月29日	70	842	1,283	2,125	
うんちの落とし主探し	11月8日～1月29日	70	1,253	5,278	6,531	
うたの生きもの探し	2月1日～4月2日	52	1,008	6,810	7,818	
移動動物園	6月19日、2月12日	2	1,023	1,129	2,152	
アサリ神経衰弱	4月1日～3日	3	51	79	130	
20万人記念セレモニー	3月19日	1	50	60	110	
		計	589	21,774	31,749	53,523

本年度は年間で計 594 回実施し 53390 人に対応を行いました。定期的に開催されるプログラムは 5 種類あり、生きものガイド、ちびっこプログラムなど全てが毎回テーマを変えて行っているプログラムで来るたびに新しい楽しみがあります。

開始時間や定員、対象年齢を見直し、来年度はより参加者の発達段階にあった内容のプログラムを実施していきます。

(4) 発展型プログラム

発展型プログラムは事前募集で、より深く生きものや自然について学べるプログラムです。興味・関心の高い層をターゲットとして、人との共生を考える内容や、解剖などの高度なプログラムも行いました。本年度は年間で計 12 回実施し 340 人に対応を行いました。

発展型プログラム対応数一覧

内容	実施日	実施回数 (回)	対応人数(人)		
			大人	小人	合計
家族でハチミツ搾り	5月29日	1	10	13	23
生物園に泊まろう!	7月23日	1	0	23	23
セミの羽化観察会	7月31日	1	13	12	25
昆虫標本教室	8月7日	1	0	19	19
こども飼育員になろう	8月10日	1	0	18	18
解剖!魚の研究会	8月21日	1	0	20	20
Dream night at the Zoo	8月27日	1	51	46	97
ヒツジの毛でクラフト	9月25日	1	0	20	20
家族でつり教室	10月10日	1	29	20	49
蜜蝋キャンドルを作ろう! In光の祭典	12月23日	1	10	0	10
蜜蝋キャンドルを作ろう!	12月23日	1	14	5	19
イカスミで書初め	1月15日	1	0	17	17
		計	127	213	340

● 夏休みに合わせて実施した発展型プログラム

小学生の夏休みに合わせて5つの発展型プログラムを実施しました。生物園にいる多様な生物種を最大限に活かし、生きものをじっくり観察するプログラムや解剖、飼育体験、標本作製など魅力的な内容を集めました。

「生物園に泊まろう！」では、夜の生きものの行動観察や夜の公園の雰囲気体験するプログラムを実施しました。今年度はスタッフ数を増やし、参加者とスタッフが共に楽しむ雰囲気を作りました。親もとを離れた特別な宿泊体験となり、参加者同士の仲が深まる様子も伺えました。

「昆虫標本教室」では、標本の価値を理解してもらうことをねらいとして実施しました。標本について解説した後、実際に生物園で飼育していたカブトムシを使用して標本を作りました。1時間以上かけて1つの標本を作り上げることは集中力も必要とされ、完成した標本は参加者にとって価値のある標本となりました。

「解剖！魚の研究会」ではサメや硬骨魚類など多様な種類の魚を用意し、魚類に詳しいスタッフが解説しました。様々な海域にいる魚を比較しながら解剖してゆくことで、体のつくりと暮らす環境の関係性について理解を深めることができました。また、解剖中はお互いに教え合う姿も見受けられました。

来年度も夏休みに合わせて参加者の興味関心を深める発展型プログラムを運営していきます。

4. 区民協働活動の推進・支援

生物園は区民参加型の協働施設を目指しており、本年度も区民参加のボランティア活動を行いました。ボランティアは生物飼育の補助を行う「昆虫飼育ボランティア」と来園者への解説対応を行う「生きものふれあいボランティア」、本年度新設した公園の草花の管理を行う「公園花壇ボランティア」の3つのボランティアを運営しました。来年度も興味に合わせたボランティア活動が出来るように運営していきます。

(1) 昆虫飼育ボランティア

昆虫飼育ボランティアは、展示昆虫、餌用昆虫の飼育や、餌用植物などの管理を行うボランティアです。活動はボランティア登録者が任意の日付と時間を選び活動を行う通常の活動と、昆虫ドームなどの展示施設の整備を行う定期的な活動があります。また参加者向けの講習会なども行いました。

昆虫飼育ボランティア活動一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
その他 (第2週)	内容	説明会	チョウの飼育講座	なし	ボランティア交流会	なし	水生昆虫飼育講座	なし	昆虫飼育講座	なし	ボランティア交流会	なし	ふりかえり	
	参加人数(人)	24	19		12		14		17		9		22	117
通常活動	回数(回)	23	27	30	29	29	28	28	23	29	26	26	25	323
	参加人数(人)	47	65	74	63	70	65	59	54	61	51	51	52	712
計														829

本年度は 29 人の登録があり、年間 323 回、のべ 829 人の参加がありました。活動により飼育や消耗品などの飼育補助や、植替えや害虫駆除など屋外での管理作業が充実しました。また講習会では飼育補助の技術を高めるための飼育講座や、ボランティア同士の交流を深めるための交流会を行いました。通常活動に加えてこれらの講習会を行うことで、活動意欲の向上につなげることができました。

(2) 生きものふれあいボランティア

生きものふれあいボランティアはふれあいプログラムの補助、展示解説活動を行うボランティアです。活動は開園日のうち登録者が任意の日付と時間を選び活動を行うものです。また年 3 回の講習会、7 回の勉強会を行い、解説に必要な技術や安全管理の視点について伝えました。

生きものふれあいボランティア活動一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
その他 (第3週)	内容	説明会	解説講習会	オリンピック	安全管理	ぎっずルーム	金魚	うんち	勉強会	展示	歌	カエル	ふりかえり	
	参加人数(人)	5	5	3	4	4	3	3	4	1	1	3	4	40
通常活動	回数(回)	3	9	6	4	6	6	4	4	4	3	4	4	57
	参加人数(人)	6	9	7	7	8	10	6	6	4	4	5	6	78
													計	118

本年度は 5 人の登録があり、年間 57 回のべ 78 人の参加がありました。活動は来園者の多い土日祝と団体利用の多い平日午前を中心に行われ、ボランティア活動により、多くの来園者に充実したふれあい体験や解説を行うことができました。

また、本年度より出張授業の補助スタッフとしても活動を開始し、2校の小学校へ同行してもらいました。普段から生物園でふれあいプログラムの補助を行っているため、授業時の生徒への声掛けや生きものへの配慮を適切に行うことができました。ボランティアがふれあいの補助を行い、スタッフがアレルギーや障がいをもった生徒への対応にあたることで生徒 1 人 1 人に充実した内容の授業を行うことができました。

(3) 公園花壇ボランティア

公園花壇ボランティアは、元渚江公園内の花壇や草木管理を行うボランティアです。毎月第二木曜日を活動日とし、天候不良の際は同月内で変更しました。

公園花壇ボランティア活動一覧

		4月 (説明会)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
通常活動 (第2週)	参加人数	2	2	2	2	1	0	1	2	1	1	0	1	15
													計	15

本年度は 2 人の登録があり、年間 10 回のべ 15 人の参加がありました。年 3 回の花壇の植え替えや除草など、草花の維持管理を行いました。また、屋外での作業のため、天候により実施できない月もありました。作業中は公園利用者から感謝のお声をいただくこともあり、活動意欲の向上にもつながったと考えられます。

5. 団体対応

生物園には幼稚園、小・中学校などの教育施設はもちろん、デイサービスなどの介護施設、一般団体など年間を通してたくさんの団体利用があります。本年度は 909 団体、計 21,751 人の利用があり、総来園者数の約 10.5%を占めていました。これらの団体のうち希望のあった団体には解説員による団体プログラム対応を行いました。

またそれ以外の団体対応として、園外へ出張して行う出張授業や、中学校・専門学校、大学への実習対応も行いました。

(1) 団体プログラム

園内でのプログラム対応を行った団体は、のべ 105 団体、計 8,602 人でした。小学校には、園内の見どころや注意事項を紹介する「ウェルカム・お見送りトーク」や「クイズラリー」等のプログラムを提供しました。なかでも本年度は様々な種類の生きものをさわり比べる「生きものふれあい」が人気で、小学校などさまざまな団体から要望がありました。

団体プログラム活動一覧

プログラム内容	回数 (回)	対応人数(人)		
		大人	小人	合計
ウェルカムトーク・お見送りトーク	60	349	4,925	5,274
クイズラリー	19	121	2,028	2,149
生物園ガイド	10	173	37	210
チョウの一生	2	9	159	168
カエルの一生	1	3	63	66
昆虫の一生	1	3	63	66
ホタルの飼育	1	8	162	170
公園の生きもの	1	4	50	54
生きものふれあい	10	48	496	544
インタープリテーション概論	1	27	0	27
計	106	745	7,983	8,728

(2) 出張授業

本年度も小学校を対象とした出張授業を行いました。結果、小学校 14 校に実施し対応人数は計 1364 人でした。昨年度未実施した区内小学校理科部会での講座や、教員間の口コミが新規小学校からの依頼増加につながったと考えられます。実施したプログラムは「モルモットを仲良くなろう」や「チョウの飼育体験教室」など、1 年生生活科や 3 年生理科の授業に合わせたものが多かったです。

出張授業活動一覧

実施日	団体名	プログラム内容	対応人数(人)		
			大人	小人	合計
5月6日	足立区立長門小学校	チョウの飼育体験教室	2	69	71
5月19日	足立区立弘道小学校	チョウの飼育体験教室	2	51	53
6月3日	足立区立中川東小学校	校庭の生きもの観察	2	49	51
6月9日	足立区立中川東小学校	チョウの飼育体験教室	2	55	57
6月17日	足立区立千寿第八小学校	チョウの飼育体験教室	3	85	88
6月18日	足立区立足立小学校	チョウの飼育体験教室	3	81	84
6月24日	足立区立舎人小学校	水の中の生きもの	2	69	71
7月8日	足立区立舎人小学校	チョウの飼育体験教室	4	102	106
9月5日	足立区立千寿小学校	モルモットと仲良くなろう	3	103	106
9月26日	足立区立新田小学校	モルモットと仲良くなろう	8	228	236
10月11日	足立区立青井小学校	校庭の生きもの観察	6	123	129
10月17日	足立区立栗島小学校	モルモットと仲良くなろう	3	87	90
12月12日	足立区立千寿小学校	モルモットと仲良くなろう	3	102	105
1月30日	足立区立栗島小学校	モルモットと仲良くなろう	2	70	72
合計 14団体			45	1,274	1,319

(3) 教職員向け講座

小学校の教員を対象とした講座で3種のプログラムを用意しました。本年度は1回21人に対応を行いました。昨年度からの継続実施のため、昨年度の内容や教員の要望から、実践的な応用を中心に紹介しました。

実施日	団体名	プログラム内容	対応人数(人)		
			大人	小人	合計
9月14日	墨田区立小学校理科部会	身近な微生物	21	0	21
合計 1団体			21	0	21

(4) 実習対応

本年度は職場体験・訪問、インターン、学芸員実習、緑化企業実習と5種類の実習対応を行いました。

職場体験は、19校61人に対応を行いました。実施中は園内のいくつかの業務を数日に分けて体験することができ、各種飼育や解説業務(プログラム・展示作成)などを体験しました。また体験後はそれぞれの適正に気付き将来設計に役立てられるよう振り返りを行いました。

職場体験対応一覧

実施対象	体験開始日	期間 (日数)	対応人数(人)	
			対応人数	のべ対応人数
足立区立青井中学校	6月6日	3	3	9
足立区立東島根中学校	6月9日	2	5	10
足立区立第五中学校	6月23日	2	3	6
足立区立第十中学校	6月28日	3	3	9
足立区立第四中学校	6月29日	3	3	9
足立区立第九中学校	7月11日	2	5	10
足立区立扇中学校	7月13日	2	2	4
足立区立洲江中学校	7月14日	2	3	6
足立区立竹ノ塚中学校	8月29日	3	3	9
足立区立鹿浜菜の花中学校	8月30日	2	3	6
足立区立花畑中学校	9月1日	2	2	4
足立区立十一中学校	9月6日	3	3	9
足立区立谷中中学校	9月6日	3	3	9
足立区立伊興中学校	9月13日	2	3	6
足立区立十四中学校	9月15日	2	3	6
足立区立六月中学校	9月15日	2	3	6
足立区立花保中学校	10月4日	3	3	9
足立区立千寿桜堤中学校	11月28日	3	3	9
足立区立第十三中学校	2月3日	2	5	10
			46	146

職場訪問は11回51人に対応を行いました。ほとんどが動物園や水族館に関心のある生徒で、「生きものを仕事にする上で大切な事は何か?」など仕事に関する様々な質問に対応しました。

職場訪問対応一覧

実施対象	実施日	対応人数 (人)
村上市立荒川中学校	4月13日	4
足立区立花畑北中学校	6月10日	3
宮城県立仙台第一高等学校	7月8日	3
日出学園中学校	7月15日	1
広島県立尾道北高等学校	7月21日	5
足立区立第六中学校	8月11日	1
足立区立第九中学校	9月21日	19
足立区立東島根中学校	1月27日	2
足立区立第五中学校	2月2日	3
足立区立第十中学校	2月3日	6
足立区立花畑中学校	2月14日	4
計		51

インターンは専門学校や大学など11回21人に対応を行いました。全ての学生が生物学や飼育を専門にしている、キャリアアップのために実践的な飼育や解説体験を行いました。

インターン対応一覧

実施対象	体験開始日	期間 (日数)	対応人数(人)	
			対応人数	のべ対応人数
日本ペット&アニマル専門学校	5月26日	7	1	7
沖縄ペットワールド専門学校	6月4日	4	3	12
玉川大学	7月30日	11	4	44
学習院大学	8月2日	3	1	3
東邦大学	8月11日	6	3	18
埼玉動物海洋専門学校	9月5日	26	1	26
日本ペット&アニマル専門学校	9月19日	15	1	15
川原学園東京動物専門学校	10月19日	15	1	15
川原学園東京動物専門学校	11月3日	15	1	15
東京農業大学	2月27日	5	4	20
沖縄ペットワールド専門学校	3月10日	2	1	2
		計	21	177

学芸員実習は大学での学芸員資格を取得するために必要な実習で、1回11人に対応を行いました。実習では博物館に必要な展示やプログラム作成に対する講習や、生物飼育など複合的な講習や体験実習を行いました。

学芸員実習対応一覧

実施対象	体験開始日	期間 (日数)	対応人数(人)	
			対応人数	のべ対応人数
帝京科学大学	8月19日	10	5	50
日本大学	8月19日	10	2	20
日本大学通信学部	8月19日	10	1	10
東京農業大学	8月19日	10	3	30
		計	11	110

6. 展示による解説

(1) 常設展

観察展示室「水族展示エリア」の改修に伴い、新しい展示を開始しました。サンゴやそれらに隠れて暮らす生きもの、海と陸の狭間に広がるマングローブに暮らす生きものなどを展示しました。

また、本年度は新たに区内施設を紹介する「荒川ビジターセンターへ行こう」と「桑袋ビオトープ公園へ行こう」の展示を開設しました。足立の生きもの観察室に設け、各施設を紹介する展示に加え、生きものクイズなど季節に合ったハンズオンを行いました。



サンゴ水槽

(2) 企画展・特別展

来園者にいつ来ても新鮮な内容で楽しめるように定期的に入れ替える展示を園内各所で行いました。

●企画展

企画展は比較的小規模な展示です。本年度は29回の企画展を園内各所で行いました。本年度はむしむしコーナーや生きもの研究室で行われる企画展のほかにも、季節や行事に合わせた「生物園のクリスマス展」や「ひな人形」などの展示を行いました。



虫のようちえん展



生物園のクリスマス展

タイトル	展示場所	開始	終了
エイプリルフール展	園内全体	4月1日	4月1日
生物園のお父さんを探そう	園内全体	6月8日	6月19日
水辺の生きもの展	生きもの研究室	5月18日	7月10日
標本展	生きもの研究室	5月18日	7月10日
生物園の母の日展	休憩コーナー	4月26日	5月8日
身近な生きものの飼い方	休憩コーナー	—	4月24日
		5月10日	10月16日
		11月1日	11月27日
		1月31日	2月5日
生物園のハロウィン展	休憩コーナー	10月18日	10月30日
生物園のクリスマス展	休憩コーナー	11月29日	12月28日
生物園のお正月展	休憩コーナー	1月2日	1月29日
生物園のバレンタイン展	休憩コーナー	2月7日	2月19日
奇々怪々な「蟲」展	むしむしコーナー	—	4月3日
虫のようちえん展	むしむしコーナー	4月6日	6月5日
虫の親子関係展	むしむしコーナー	6月8日	7月18日
カブトムシ・クワガタムシ展	むしむしコーナー	7月21日	9月4日
鳴く虫展	むしむしコーナー	9月7日	10月10日
沖縄の虫たち展	むしむしコーナー	10月13日	12月4日
ゴキブリ展	むしむしコーナー	12月7日	1月15日
ハンターな虫たち展	むしむしコーナー	1月18日	4月2日
いつでもチョウが飛んでいるヒミツ	チョウの飼育室	4月1日	4月30日
チョウを探しに出かけよう	チョウの飼育室	5月1日	6月30日
チョウの自由研究	チョウの飼育室	7月1日	8月31日
いもむし大集合	チョウの飼育室	9月1日	11月27日
いもむし大集合～結果発表～	チョウの飼育室	11月29日	1月22日
チョウの蝶能力	チョウの飼育室	11月29日	3月31日
ツシマウラボシジミの保全	チョウの飼育室	5月14日	11月21日
七夕	であいの広場	6月26日	7月7日
クリスマス	であいの広場	11月29日	12月28日
ひな祭り	であいの広場	2月24日	3月3日
としのう出張 食中植物展	大温室前室	9月15日	9月30日

●特別展

特別展は特別イベントや特別な生体展示と合わせて開催される展示で、本年度は6回開催しました。全ての特別展が生きもの研究室全体を使って開催しました。

展示中は生体のふれあい等の体感できるハンズオン展示に力を入れました。特に「生きものオリンピック展」の生きものレースでは、特設コースを生きものが進む姿を観察してもらいました。

「生きものオリンピック展」
生きものレースの様子

タイトル	展示場所	開始	終了
奇想天貝	生きもの研究室	—	4月3日
生きものタッチ展	生きもの研究室	4月6日	5月15日
生きものオリンピック展	生きもの研究室	7月13日	9月25日
金魚展	生きもの研究室	9月28日	11月6日
うんち展	生きもの研究室	11月8日	1月29日
うたの中の生きもの展	生きもの研究室	2月1日	4月2日



また、他団体と協力した展示物の作成を行いました。「金魚展」では株式会社ヨシダと東京らんちゅう倶楽部、「うんち展」では東武動物公園、「うたのなかの生きもの展」では竹ノ塚地域学習センターの各サークルから協力いただきました。

7. 印刷物による解説

(1) セルフガイド

セルフガイドは生物園の展示をより楽しめるような生きものなどに関する情報や家庭でできるプログラムや生きもの飼育についてまとめた配付物です。A4白黒三つ折で、手軽に持ち帰ることができるようになっています。

セルフガイド配布状況一覧

No	セルフガイドタイトル	配布数												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	きらわれものいきものたち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	しいくシリーズ① カブトムシ	40	72	164	100	320	100	40	40	0	0	20	0	896
3	バタフライ・ウォッチング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	イヌ 人とであう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	流水の天使クリオネ	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
6	標本をつくろう！カブトムシ編	20	60	206	140	384	68	42	22	8	0	0	0	950
7	荒川とそこにすむ魚たち	29	71	75	100	160	122	75	63	0	60	72	188	1015
8	標本をつくろう！チョウ編	20	165	160	140	285	32	82	3	45	19	9	39	999
9	魚のロジまん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	ハチのふしぎのせかい	26	70	104	40	20	46	118	16	0	0	51	74	565
11	干潟のいきもの	20	20	40	0	40	0	20	0	0	20	0	2	162
12	のぞいてみようミクロの世界	32	0	0	0	20	0	20	0	0	0	0	0	72
13	ホタルのふしぎ	96	75	468	100	165	82	88	80	90	36	23	70	1373
14	うんちのひみつ	35	78	74	60	120	60	20	44	216	116	44	8	875
15	アリの世界	0	0	15	40	80	20	0	59	1	32	8	40	295
16	水生昆虫大研究	60	95	207	80	202	83	112	45	0	60	55	115	1114
17	チョウのうんこ染めに挑戦	0	90	68	60	83	33	108	70	83	63	3	0	661
18	鳴く虫のはなし	0	0	0	0	0	97	129	34	0	0	0	0	260
19	カエルがわかる	93	127	180	20	100	70	10	20	68	52	47	133	920
20	虫の冬ごし	42	0	0	0	0	0	27	75	118	80	50	90	482
21	東京の生物多様性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	20
22	ハットおどろく菌のはなし	0	0	59	120	100	35	25	0	0	36	32	39	446
23	生きもの伝説ウソ?!ホント?!	0	0	40	0	20	0	40	0	0	0	0	0	100
24	セミの親どころ 見分けどこ?!	0	0	0	20	324	20	0	0	0	0	0	0	364
25	みつつけてかんさつダンゴムシ	52	122	189	60	40	80	17	91	65	7	20	60	803
26	生きものっていい漢字!	0	0	0	0	0	20	40	0	0	39	21	100	220
27	イモムシのエサさがし!	20	20	148	20	110	40	40	20	0	20	27	33	498
28	むしとりしよう!	0	0	0	0	160	0	20	0	0	0	0	0	180
29	金魚を飼う	74	107	40	80	460	85	555	40	86	54	13	141	1735
30	とぶ飛ぶ跳ぶ生きもの	20	0	40	20	20	20	60	58	104	68	29	81	520
31	カマキリを飼う	14	140	100	100	106	60	74	88	38	0	0	20	740
32	ナミアゲハを飼う	114	60	158	240	364	86	174	154	91	72	49	180	1742
33	虫たちの巣	56	32	108	0	60	80	48	72	49	51	20	56	632
34	池で釣りをしよう	128	249	215	80	164	15	73	27	25	0	65	44	1085
35	夜の生物園を楽しもう	0	0	360	0	0	0	0	12	188	0	0	0	560
36	ゴキブリいろいろ★	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20
37	うたのなかの生きもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	30
	合計	1004	1653	3218	1620	3907	1354	2057	1133	1275	905	658	1563	20347

本年度はセルフガイドを 22,347 部 配布しました。配布したセルフガイドの種類は 37 種類のうち 3 種類は新規に作成したものです。新規に作成したセルフガイドは夜間開園に連動した「夜の生物園を楽しもう」と、様々な面から生態を紹介する「ゴキブリいろいろ★」、特別展に連動したセルフガイド「うたのなかの生きもの」です。夜間限定のセルフガイドは初の発行となり、夜間開園期間の発行部数を伸ばすことができました。



新たに作成したセルフガイド

(2) ニュースレター

ニュースレターは A4 両面フルカラーの印刷物で、表面は生物園の展示やプログラムなどのイベント案内を中心とした広報媒介ですが、裏面には解説的な内容を掲載しています。広報媒介に解説的な内容を織り込むことにより、ニュースレターをより読みたくなるようにしました。

ニュースレター裏面のコラム一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生きものみどころ情報	ビルマニシキヘビ	ヒツジ	シルバーアロワナ	タテハモドキ	モツゴ	シロモンオオサンガメ
解説員のひとりごと	春のおしごと	カナヘビとの真剣勝負！	夜空の生物園	自然の色	私が実際に体験した話です…	指乗りトシボ
ちょっとひといき	オタマジャクシならべ	まちがえさがし	カタツムリ探し	食べあとクイズ	アマモの森探検	かくれた鳥をさがそう

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生きものみどころ情報	ミズクラゲ	パンケーキガメ	アイガモ	シマゲンゴロウ	マナマコ	カバタテハ
解説員のひとりごと	土のまわりの生きもの	バードウォッチングに出かけてみませんか？	カメラから見える景色	寒さに耐える	沈黙	春への準備
ちょっとひといき	どのイモムシの模様かな？	昆虫パズル	生きもの名前クイズ	間違い探し	生きものうらない	生きものなぞかけ

裏面の内容にはそのときに見ごろの生きものについて紹介した「生きものみどころ情報」、スタッフの目線で生きものや自然の楽しみ方を紹介する「解説員のひとりごと」、クイズやゲームなどのお楽しみ要素を生物園風に作成した「ちょっとひといき」の計 3 コラムを掲載しました。

ニュースレター裏面レイアウト(左:5月号 右:12月号)

8. 連携事業

元湊江公園・生物園では周辺の地域や企業・団体と連携した施設運営を行うことで、地域に愛され利用される施設を目指しています。今年度もさまざまな連携を行いました。

●元湊江公園・生物園利用推進協議会

元湊江公園・生物園利用推進協議会は地域の利用者や企業、団体、学校と意見交換会を行い、要望や意見を汲み取り利用促進やサービス向上につなげるものです。今年度もミュージアムショップが中心となって足立区の多様な企業とともに生物園のお土産を開発する「生物園お土産研究会」を2回開催しました。また、新たに区内の教育施設の実務者と専門家による「教育利用研究会」を立ち上げました。

・生物園おみやげ研究会

7月28日のお土産研究会は、「ホテルのグッズを考えよう！」というテーマで、初のワークショップ形式で行いました。始めに生物園で飼育しているホテルの鑑賞をした後、ブレインストーミングで自由に商品のアイディアを出し合い、グループに分かれて企画案を作成しました。

3月24日のお土産研究会では、7月の研究会で出た案をもとに試作した「反射シール」、「チャーム」といったホテルグッズを供覧し、全体で販売に向けた検討を行いました。また、今年後商品化された「生物園のヒツジの毛を使ったグッズ」や「モルモット、リスザルをモチーフにしたグッズ」などの報告と紹介を行いました。終了後のアンケートでは、「生物園のお土産開発に協力したいと思った」を選択する方の割合が過去最も高く、これまでの提案が実際に商品化されていく様子を紹介できたことで、多くの企業が生物園のオリジナルグッズ開発に興味を持ったのではないかと考えられます。

さらに、11月23日に行われた「わんフェス」では「生物園お土産研究会」ブースを設け、オリジナルグッズ開発の取り組みの紹介、物販を行いました。研究会の取り組みをこうしたイベントで一般の方々に紹介するのは初めてのことです。当日は区内のものづくり企業4社が出店し、犬に関する製品を販売しました。ブース全体で¥53,500の売上があり、多くのお客様に利用していただけただけでなく、企業からも、「普段はお客様に対面して販売する機会がないので、良い経験になりました。」といった感想をいただきました。こうしたイベントへの参加が、地元のものづくり企業と一般の方の交流につながると考えられます。

・教育利用研究会

2月8日に行われた教育利用研究会では、区内幼稚園保育園の園長、小中学校の教員、教育学が専門の大学教員による14名の委員が集まりました。「足立区生物園と団体プログラムの紹介・実演」というテーマで、園内を回るクイズラリーや昆虫のふれあいを体験してもらいました。今後は教育施設ごとに分かれ、それぞれの課題に合った新たな団体プログラムの開発や評価を行っていきます。

●地元企業との連携

生物園ではミュージアムショップを中心に、足立区の企業と連携した商品の開発や販売を行っています。今年度は新たに、(株)プロファックスジャパン、ニットキュア(株)、(株)びっくびっく・じー・りーだーとの取引を開始しました。また、(有)篠原刃型、(株)安心堂によるワークショップを実施したほか、新規でワークショップの実施を目指す企業向けに、「ワークショップ見学会」を企画しました。

(株)プロファックスジャパンは、アメニティーグッズの企画・製作を行う区内の企業で、お土産研究会にも複数回参加して下さっています。今年度、委託販売でのお取引を開始し、4月の花フェスに合わせて花をモチーフにしたアイテム3種類と、生物園オリジナルの水引グリーティングカード2種類を納品していただきました。



水引グリーティングカード



羊毛を使ったヘアゴム

ニットキュア(株)は、ニットの修理と加工をされている区内の企業です。以前、お土産研究会で生物園から「園のヒツジの毛を使ったオリジナルグッズを作りたい」というご提案をしたことを受け、羊毛を使ったオリジナルグッズ開発に取り組んでくださいました。事前にアンケートを行い、ミュージアムショップの利用者層や人気の多いグッズを調べた上で、ヘアゴムの販売に至りました。完成したヘアゴムには、イラストで原毛から毛糸ができるまでを説明した台紙を入れ、販売しています。今後ヘアゴム以外の商品も展開していきたいと考えています。

(株)びっくびっく・じー・りーだーは区内にお住まいのお母さんが立ち上げたブランドで、国産のガーゼで作った綿100%のハンカチを委託販売でお取り扱いすることになりました。実際にお子さんを連れて生物園にいらした際に、動物を触った後やお弁当を食べる前に使えるガーゼのハンカチがほしい、と感じたことから、生物園で販売できないかと考えてお声掛けくださったそうです。



国産ガーゼのハンカチ

ワークショップは、昨年に引き続き、(有)篠原刃型、(株)安心堂の2社が実施しました。また、お土産研究会の参加企業から「うちも生物園でワークショップを実施してみたい。」「突然企画書を出すよう言われてもどうしたら良いかわからないので、ワークショップをやりたい企業向けに説明会を開いて欲しい。」といったご要望が寄せられました。そのため、(有)篠原刃型のワークショップ日程に合わせて「ワークショップ見学会」を企画しました。前半は篠原刃型さんのワークショップを自由に見学していただき、後半は「今日のワークショップのここが工夫されていると感じた。」などの感想を共有したり、「うちではこんなことが出来そうだと思うのだけれど、どうだろう。」といったご相談・ご質問に園担当者がお応えしました。

●ギャラクシティとの連携

ギャラクシティは西新井にある児童文化・科学施設です。生物園に位置が近く、来園者の多くが未就学児や小学生とその保護者と利用層が近い施設です。しかし生物園の来園者はギャラクシティを周知していることが少なく逆も同様なため、お互いの連携を行うことで来園者増を狙うことができます。

本年度は昨年度に引き続き、相互プログラム・展示協力・プラネタリウムの番組撮影などを行いました。相互プログラムでは、生物園にて出張プラネタリウムを実施していただいたほか、ギャラクシティでは生物園の素材を生かしたプログラム「ヒツジの毛でクラフト！」を実施し生物園の広報へと繋げました。

また、昨年度に引き続き、ギャラクシティのプラネタリウムにて上映するプログラム「ちよこっとシアター「生物園のどうぶつたち」の企画・監修・撮影協力を行いました。

日付	内容	主催(実施場所)	参加者		協力内容
			大人	小人	
7月2日 (土)	出張プラネタリウム	足立区生物園	165	160	プラネタリウム上映
7月3日 (日)	出張プラネタリウム	足立区生物園	165	163	プラネタリウム上映
7月31日 (日)	ホタルnightプラネタリウム	ギャラクシティ	計199		生体貸出
9月22日～9月25日	ブラ音(ネ)タリウム～虫の音night～	ギャラクシティ	117	132	生体貸出
2月4日 (土)	出張解説員	ギャラクシティ	86	105	プログラム実施
2月5日 (日)	出張解説員	ギャラクシティ	114	132	プログラム実施
2月4日～4月5日	ちよこっとシアター「生物園のどうぶつたち」	ギャラクシティ	計1839		プラネタリウム上映
2月11日 (土)	ヒツジの毛でクラフト!	ギャラクシティ	0	35	プログラム実施

展示協力では「標本展 in ギャラクシティ」と「足立区生物園出張展示～生物園のいきものたち～」を開催し、展示と同時に生物園のパンフレットやセルフガイドの配布を行いました。また今年度は展示に連動し「出張解説員」を実施しました。展示生物についての解説やふれあい体験などを通して生物園を疑似体験して頂くことで、認知度を高めることができました。



足立区生物園出張展示

タイトル	展示場所	開始	終了
標本展inギャラクシティ	ギャラクシティ2階	7月12日	8月31日
足立区生物園出張展示～生物園のいきものたち～	ギャラクシティ2階	1月14日	2月12日

●イベントでの連携

本年度も足立区主催のイベント等さまざまなイベントに協力を行いました。区内の公園や施設で実施されたイベントには出張生物園を行い、生物園の生きものの展示やふれあいからPRへ繋げました。

連携イベント一覧

日付	イベント	主催	開催場所	協力内容
4月2日～3日	千本桜祭り	立区観光交流協会、足立区、東京都建設局、東京都交通局、(公財)東京都公園協会	舎人公園	出張生物園
4月10日 (日)	宇宙メダカ・サクラセレモニー	足立区教育委員会	足立区生物園	セレモニー
5月8日 (日)	第回足立子どもまつり	足立子どもまつり実行委員会	元測江公園	会場提供、告知など
5月28日～29日	地球環境フェア	足立区、足立区温暖化防止区民会議実行委員会	足立区役所本庁舎	出張生物園
6月4日～5日	しょうぶ祭り	足立区観光交流協会・足立区	しょうぶ沼公園	出張生物園
10月30日 (日)	公園まるごとおもちゃ箱	公園おもちゃ箱の会	元測江公園	会場提供、告知、ポニー乗馬など
11月26日～12月25日	光の祭典	足立区観光交流協会	元測江公園・足立区生物園	夜間特別開園、ホタル観賞会など
3月5日 (日)	梅まつり	足立区公園整備課	大谷田公園	出張生物園
3月19日 (日)	平野スポフェス	平野運動場	平野運動場	出張生物園

● 区内商業との連携

区内の商業施設との連携も行いました。西新井の商業施設 西新井パサージュにて出張生物園を行いました。出張生物園は4月、6月、8月、9月、11月の5回土日に行い、モルモットなどの哺乳類とのふれあいやヒツジの毛を用いたクラフト、生物園の生きものや標本を多数用意しました。生物園のポスター掲示やパンフレットなどの配布を行いました。

また、10月10日には新規となる環七・加平ハウジングギャラリーにおける出張生物園を行いました。モルモットのふれあいや、リクガメのエサやり体験を行いました。

● 都市農業公園との連携

あだち自然の遊び場における連携として、都市農業公園と「としのう出張 食虫植物展」を行いました。9月15日から9月30日まで、大温室前室に生体を展示し、パネルでは植物の特徴だけでなく、生きものと植物の関係も紹介しました。時には、小さな昆虫を食虫植物が捕らえる様子も観察できました。



食虫植物展の様子

● 観光交流協会との連携

足立区観光交流協会実施の「竹の塚マップ&スタンプラリー」に協力しました。竹の塚を知り、愛着を育むことを目的としており、10箇所のスタンプポイントや街の情報を紹介するマップです。

生物園ではマップの配布、スタンプポイント、景品の引換を行いました。来園した参加者は生物園周辺の方がほとんどでしたが、「スタンプラリーをきっかけに、竹の塚の新しい施設を知ることができた」という声がありました。



生物園正面玄関前スタンプ台とマップ

VI 広報活動

1. メディア対応と掲載・放映の実績

(1) メディアへの情報配信

今年度は、計 19 種類の情報配信を行いました。毎月 1 回各月のプログラム情報を定期配信したほか、大きなイベントやショッップの新商品については個別にプレスリリースを配信しました。配信先は平成 29 年 3 月 31 日現在で 17 件です。昨年度一度も反応がなかった配信先については削除し、2 月の定期配信から足立区福祉部親子支援課ひとり親家庭支援担当新たに加えました。

H28年度 情報発信記録

配信日	種別	内容	配信先	備考
4月6日	定期配信	5月のプログラム情報	16件	
5月10日	プレスリリース	ホテル見night!プレスリリース	16件	
	定期配信	6月のプログラム情報	16件	
6月6日	定期配信	7月のプログラム情報	16件	
7月5日	定期配信	8月のプログラム情報	16件	
7月19日	プレスリリース	今年のはちみつ発売	10件	新聞社中心
7月28日	定期配信	9月のプログラム情報	16件	
8月30日	定期配信	10月のプログラム情報	16件	
8月19日	プレスリリース	ミゼットホースのおすそわけ	10件	新聞社中心
9月28日	定期配信	11月のプログラム情報	16件	
10月1日	プレスリリース	モルモットパン	10件	新聞社中心
10月30日	定期配信	12月のプログラム情報	16件	
11月15日	プレスリリース	わんフェス	10件	新聞社中心
11月21日	プレスリリース	リスザルリフレクター発売	10件	新聞社中心
11月27日	定期配信	1月のプログラム情報	16件	
12月26日	定期配信	2月のプログラム情報	16件	
1月30日	定期配信	3月のプログラム情報	16件	
2月26日	定期配信	4月のプログラム情報	17件	
3月17日	プレスリリース	生物園初の来園者20万人達成記念イベント	8件	新聞社中心

H28年度 情報定期配信先

No.	配信先名
1	ケーブルテレビ足立
2	足立朝日
3	足立よみうり
4	サンケイリビング新聞社 東葛本部 編集部沿線リビング担当
5	朝日新聞 東京総局 とうきょうマリオン担当
6	朝日新聞東京本社
7	読売新聞 江東支局
8	毎日新聞 とうきょう支局
9	株式会社 ぱど
10	読売新聞 東京本社 シティライフ編集室
11	竹の塚地域学習センター（ヤオキン商事株式会社）
12	毎日新聞社会部 東京支局
13	保塚地域学習センター
14	東京新聞ショッパー さいたま支社
15	サンケイリビング新聞社 東京本部
16	株式会社かみゆ（日経DUAL）
17	足立区福祉部親子支援課ひとり親家庭支援担当

(2) 掲載・放映実績

本年度は、196 件のメディア掲載・放映がありました（昨年度比 26 件増加）。

内訳をみるとWEBでの掲載件数が大きく伸びています。これは、昨年度掲載された記事が今年度も引き続き掲載されることが多かったことに加えて、情報発信を積極的に行ったことで、新たな新規掲載も増えたことが要因として考えられます。

区分別掲載・放映実績

	H28年度		H27年度	H26年度
	実績	前年比増減数		
合計	196	26	170	160
情報誌	70	5	65	69
新聞	50	3	47	37
WEB	35	16	19	14
TV	17	0	17	31
書籍	5	-3	8	6
その他	19	5	14	3

H28年度 情報誌への情報掲載実績

メディア名	月												合計	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
あだち広報 4/10号	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
ぼど	・	1	2	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	13
保塚地域学習センター 5月号	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
竹の塚地域学習センター 5月号	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
LOCOM	・	・	1	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	2
あんふあん 5月号	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
報道広報課 「Tokyoあだちであそぼ」	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
夏休み子どもエコプロジェクト	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
東武グループ誌 「トビモア！」	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
あだち百景	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
つくばエクスプレスリビンゲ	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	1
ギャラクシティNEWS	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	1
水族館びあ	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	1
合計	6	5	7	6	7	4	5	5	7	7	6	5	70	

H28年度 新聞への情報掲載実績

メディア名	月												合計	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
足立朝日	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
読売新聞 江東	1	・	1	2	2	1	1	1	・	・	1	・	・	10
足立よみうり	2	1	1	・	・	1	1	・	・	・	・	・	・	6
朝日新聞 東京版	1	・	・	1	・	・	・	2	・	1	・	・	・	5
読売新聞	1	・	・	・	1	・	・	・	・	・	1	・	・	3
朝日新聞	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	1	2	
産経新聞	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	1	・	2	
産経新聞 エスマップ	・	1	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	2	
毎日新聞 都内版	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	1	・	2	
東京新聞 したまち支局	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	
日経プラスワン(日本経済新聞折り込み)	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	1	
日本釣具新報	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	1	
公明新聞	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	1	
東京新聞	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	1	
しんぶん赤旗	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	1	
合計	6	3	6	4	5	3	4	5	2	2	7	3	50	

H28年度 WEBへの情報掲載実績

メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
いこーよ	1	1	2	2	・	・	・	1	1	・	2	・	10
読売新聞 YOMIURI ONLINE	1	・	1	1	2	1	・	1	・	・	1	・	8
朝日新聞 DIGITAL	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	1	2
観光交流協会HP	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	1	・	2
るるぶ.com「ホテル観賞に行こう！2016」	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
タイムアウト東京	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
東京新聞 TOKYO Web	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
東京都住宅供給公社「JKK MY TOWN」	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	1
丸ごと小泉武夫食マガジン	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	1
一般社団法人日本反射材普及協会ホームページ	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	1
産経ニュース	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	1
YOMIURI ONLINE	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	1
まいぶれ足立	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	1
ままでい	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	1
PARKFUL	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	1
東京23区「街ラボくねっと」	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	1
Adachi Yomiuri Web	・	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	1
合計	2	3	4	5	3	3	1	5	4	0	4	1	35

H28年度 TVへの情報掲載実績

メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ジェイコム「デイリーニュース」	1	1	1	・	1	・	・	・	・	1	・	・	5
NHKEテレ「みいつけた！」	1	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	2
NHK「ミミクリーズ」	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1	2
TOKYO MX	・	・	・	・	・	・	・	1	・	・	1	・	2
NHK「首都圏ネットワーク」	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
テレビ朝日「東京サイト」	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1
テレビ東京「出没！アド街ック天国」	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	1
NHKBS「美の壺」	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	1
NHKEテレ「2355」	・	・	・	1	・	・	・	・	・	・	・	・	1
NHKEテレ「なりきり！むーにゃんの生きもの学園」	・	・	・	・	・	・	1	・	・	・	・	・	1
合計	3	2	3	1	3	0	1	1	0	1	1	1	17

H28年度 書籍への情報掲載実績

メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ママともぶらす東京ベイ・千葉版 5・6月号	1	1
旺文社 まっふるマガジン「東京観光2017」	.	.	.	1	1
どうぶつと動物園	.	.	.	1	1
まっふるマガジン東京観光2017(翻訳版)	1	1
JTB 大人の日帰り旅 首都圏 2017春夏	1	1
合計	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1	5

H28年度 その他への情報掲載実績

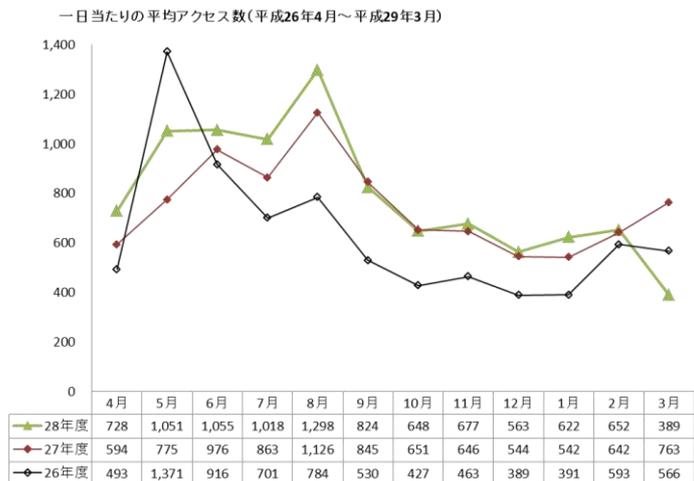
メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
タウンページ 足立区	1	1
日経DUAL	.	1	1
日経DUAL	.	1	1
電子書籍アプリ「まっふるマガジン」	.	.	1	1
NHKラジオ「夏休み子ども科学電話相談」	.	.	.	1	1
大谷田こども園 夏のしおり	.	.	.	1	1
NHKラジオ「夏休み子ども科学電話相談」	1	1
観光交流課「秋は千住がオモシロイ」	1	1
日経DUAL	1	1
映画「僕らのごはんは明日で待ってる」パンフレット	1	.	.	1
映画「僕らのごはんは明日で待ってる」	1	.	.	1
梅まつりチラシ	1	.	1
ギャラクシティプラネタリウム上映	1	.	1
足立区諸君採用試験パンフレット	1	.	1
親子支援課ひとり親家庭支援担当メールマガジン	1	.	1
JTB 大人の日帰り旅 首都圏 2017春夏(電子書籍)	1	1
花めぐりバスパンフレット	1	1
千本桜まつりパンフレット	1	1
日経DUAL	1	1
合計	0	2	1	2	1	2	0	1	0	2	4	4	19

2. ホームページによる情報発信

(1) ホームページアクセス数

今年度のホームページアクセス総数は、290,098 件と昨年に比べ 17,992 件多い結果となりました。

一日当たりの平均アクセス数を昨年度と比較してみると、3月を除いて同様かそれ以上のアクセス数となりました。特に8月は1,298件と高いアクセス件数となり、これは平成26年度の5月に次ぐ数字となります。これは7月から8月にかけてNHKラジオ「夏休み子ども科学電話相談」やNHKBS「美の壺」など多くのメディアで取り上げられた影響が考えられます。



ホームページはイベントや展示など定期的に更新しているほか、Facebookなどのリンクを掲載することによって細かな情報発信を可能にしました。また、生物園の大型イベント「わんフェス」開催の際に合わせて9月6日から特設サイトを作成し、情報発信を行いました。こちらの特設サイトには9月6日からイベント当日の11月23日までで累計10,121件のアクセスがありました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1-1 アイキャッチ画像		21	1,20	13	30	25		7					随時
1-2 Facebook	13,24,26,27,29,30	10,15,23	30	3,16,18,23	7,11,26,30	11,13,17	5,7	20,25,26	4,7,23	2,8,16	26	22,22,24,31	月1回(最低)
1-3 最新情報													随時
1-4 生物園からのお知らせ	4,11,13,18,27,4,29	1,9,10,21	24,27				5		15			8	必要に応じ更新
2-1 利用案内			21										年1回内容確認 変更あり次第随時更新
3-1 生物園の飼育の基本方針													年1回内容確認
3-2 プライバシーポリシー													年1回内容確認
2-2 しせつ案内													年1回内容確認 変更あり次第随時更新
2-3 プログラム案内													
3-3 特設展示情報	5	21				25					14		期間展示の入れ替えに応じる
3-4 プログラム情報	4	10	6	3,30	30		7	3,20		10	9	31	月1回～隔月1回
3-5 プログラムカレンダー	4	10	6	3,30	30		7	3,20		10		31	月1回
SP 特設ページ		10		4	30	6	7	15				9	ホタル観賞イベント開催に応じる その他必要に応じて更新
2-4 生物園の生きもの	18	22	24	13	9	16	17	15	23	14	23	31	月1回生きもの追加 年1回内容確認
2-5 飼育日記													
3-6 モンシロチョウ													年1回内容確認
3-7 スズメシ													年1回内容確認
3-8 セイウミツバチ													年1回内容確認
2-6 Q&A													
3-9 みなさまから生物園への声													必要に応じ更新
3-10 昆虫編													年1回内容確認
3-11 魚編													年1回内容確認
3-12 甲殻類編													年1回内容確認
2-7 解説員のひとりごと	18	22	21	13	9	16	17	15	23	14	23	22	月1回
2-8 ニュースレターダウンロード	18	21	21	13	9	16	17	15	23	14	9	23	月1回
2-9 リンク													年1回内容確認
2-10 プレスリリース				19	19		1	21					ホタル観賞イベント開催に応じる その他必要に応じて更新

※灰色に塗られているセルは更新予定月。セル内の数字は更新日。

(2) ホームページのリニューアル

3月31日にはホームページの大幅なリニューアルを行いました。新たなサイトでは、写真をスライドショーで表示するなど視覚的に見やすく、扱いやすいようになっています。今まで電話での問い合わせが多かった開園状況を常に表示させたり、団体利用者向けページや元荻江公園案内ページも加えるなど、より利用しやすくなるよう工夫しました。

また、一般普及率の高いスマートフォンにも対応しており、より多くの方に利用してもらえるようになることを期待しています。



PC画面



スマートフォン画面

3. ポスター・チラシ等による情報発信

(1) ポスター

展示やプログラム、イベントなどの情報をポスターにして掲示しました。掲示箇所は生物園入口・元洲江公園入口掲示板（各2枚）、園内（基本1枚、必要に応じ2枚）、生物園建物壁面（2枚）、竹ノ塚駅前看板（2枚）、竹ノ塚駅通路（新規、1～2枚）、アトリウム（2枚）です。アトリウムのポスター貼り替えは、足立区の担当係の方に掲示する日をお任せしている為、下記実績表のアトリウム部分の掲示期間は目安となっています。他の施設のポスターが掲示される時などは、一時掲示を中断しています。

ポスターの掲示実績

掲示場所	生物園入口・元洲江公園入口		園内		建物屋外壁面		竹ノ塚駅前看板		竹ノ塚駅通路		アトリウム						
	1 80×80(cm)	2 80×80(cm)	1～数枚		1 B2	2 B2	1 53×53(cm)	2 53×53(cm)	B1		1 B1	2 B1					
4	上 生きものタッチ展	4月のプログラム	4月のプログラム		生きものタッチ展	虫のようちえん展		生きものタッチ展	生物園PRポスター	生きものタッチ展	4月のプログラム						
	中																
	下																
5	上	5月のプログラム	5月のプログラム	来園スタンプカード	-	-	-	生きものオリピック展				5月のプログラム					
	中																
	下																
6	上	6月のプログラム	6月のプログラム							水辺の生きもの展	ホテル見night!	ホテル見night!	ホテル見night!		展示リニューアル&来園スタンプカード	6月のプログラム	
	中																
	下																
7	上	7月のプログラム	7月のプログラム								昼のホテル観賞会						7月のプログラム
	中																
	下																
8	上	8月のプログラム	8月のプログラム						生きものオリピック展	海の生きものタッチプール		生きものオリピック展				8月のプログラム	
	中																
	下																
9	上	9月のプログラム	9月のプログラム								9月のプログラム						
	中																
	下																
10	上	10月のプログラム	10月のプログラム	金魚展	金魚すくい	金魚展	金魚すくい	金魚展	生物園PRポスター	金魚展	10月のプログラム						
	中																
	下																
11	上	11月のプログラム	11月のプログラム		わんフェス			わんフェス				11月のプログラム					
	中																
	下																
12	上	12月のプログラム	12月のプログラム	夜間特別開園in光の祭典		夜間特別開園in光の祭典		夜間特別開園in光の祭典		生物園PRポスター	夜間特別開園in光の祭典	12月のプログラム					
	中																
	下																
1	上	1月のプログラム	1月のプログラム										1月のプログラム				
	中																
	下																
2	上	2月のプログラム	2月のプログラム		ハンターな虫たち展	ポニーの乗馬体験&出張生物園			生物園PRポスター		ポニーの乗馬体験&出張生物園	2月のプログラム					
	中																
	下																
3	上	3月のプログラム	3月のプログラム	さくらフェスタ		さくらフェスタ		うたの中の生きもの展					3月のプログラム				
	中																
	下																

アトリウム掲示板のデザイン変更
区庁舎へ訪れた人々を飽きさせないように、季節に応じてアトリウムの掲示板のデザインを、年9回変更しました。

4月	上旬	さくら	10月	上旬	花と空
	下旬	さくら		下旬	秋の草原
5月	上旬	新緑のさくら	11月	上旬	秋の草原
	下旬	新緑のさくら		下旬	秋の草原
6月	上旬	あじさい	12月	上旬	クリスマス
	下旬	あじさい		下旬	クリスマス
7月	上旬	湿地の緑	1月	上旬	冬景色
	下旬	湿地の緑		下旬	冬景色
8月	上旬	湿地の緑	2月	上旬	冬景色
	下旬	湿地の緑		下旬	冬景色
9月	上旬	花と空	3月	上旬	さくら
	下旬	花と空		下旬	さくら

(2) ニュースレター

毎月1回発行し、各9,000部の印刷を行いました。印刷したニュースレターは区内の施設や生物園の受付などで配布する他、近隣の小学校10校(澁江第一小、澁江小、保木間小、東栗原小、加平小、中島根小、平野小、花保小、花畑小、竹の塚小)で配布を行いました。

ニュースレターの表面は、イベントや展示など生物園のPRに関する内容について掲載しました。

発行日	種類	サイズ/仕様	部数	主な掲載内容
4月14日	5月号	A4/両面カラー	9,000	GW開催のイベント
5月16日	6月号	A4/両面カラー	9,000	ホテル見night!
6月14日	7月号	A4/両面カラー	9,000	夏の昆虫関連イベント
7月11日	8月号	A4/両面カラー	9,000	夏の水生生物関連イベント
8月11日	9月号	A4/両面カラー	9,000	金魚展、ヒツジの毛でクラフト
9月12日	10月号	A4/両面カラー	9,000	金魚すくい、金魚展
10月10日	11月号	A4/両面カラー	9,000	わんフェス、ポニー乗馬
11月12日	12月号	A4/両面カラー	9,000	夜間特別開園 in 光の祭典
12月12日	1月号	A4/両面カラー	9,000	お正月キャンペーン
1月13日	2月号	A4/両面カラー	9,000	ポニー乗馬・移動動物園
2月14日	3月号	A4/両面カラー	9,000	さくらフェスタ、ボランティア募集
3月10日	4月号	A4/両面カラー	9,000	春の海で生きもの探り

夏だ! 生きもの
遊ぼう! 2016年7月21日(土)~8月24日(日)は休まず開園! 開園時間が17:30になります。

夏! 夏の金魚すくい
8月13日(土)・14日(日)・15日(月)
時間 10:30-12:00、13:30-15:00
料金 小学生以上100円(入園料別)
対象 どなたでも

解剖! 魚の研究會
8月21日(日) サメの皮膚本付
時間 13:30-15:30 料金 1000円(入園料別)
対象 小学4~6年生 定員 20名

海の生きものタッチプール
7月21日(土)~8月24日(日)
時間 10:30-12:00、13:30-15:00
対象 どなたでも

生きものオリンピック展
期間 7月13日(水)~9月25日(日)

プログラムに多くあてよう!

チョウを放そう 毎 日 15:30-	ヒツジのショー 8月6日(土) 13:10- 雨天中止	マカクサ 毎日 13:00-
ちびっこプログラム 平日 毎週水曜日 11:00- のみ ※7月21日~8月24日は休止	家~し~園高のガイドツアー 8月7日(日) 11:00-	リクガメ 毎日 13:45-
生きものガイド 第3講 毎週土曜日 11:00- 5時迄	うらがわ探検ツアー 8月14日(日) 11:00-	チンチラ 毎日 16:30-
	ニシキヘビと記念撮影 カメラ 持ち 持ち 8月21日(日) 14:30-	鳥 虫 犬 牛 10:30-
	動物ツアー(夏の昆虫) 8月28日(日) 11:00-	哺乳類 次 牛 15:00-
		大型鳥類 次 牛 11:30-
		ヘビ 牛 14:30-
		魚 鳥 14:00-
		フクロウ 日 15:00-

さばらの時期
食事風景を撮影
付きで見よう

金魚展
9月28日(水)~11月6日(日)

鳴く虫展
9月7日(水)~10月10日(月) 祝

ヒツジの毛でクラフト!
9月25日(日) 雨天中止

金魚と人の歴史、**日本の金魚たち**、**世界の金魚たち**、**金魚を楽しまう**

プログラムに多くあてよう!

チョウを放そう 毎 日 15:30-	ヒツジのショー 9月9日(土) 13:10- 雨天中止	マカクサ 毎日 13:00-
ちびっこプログラム 平日 毎週水曜日 11:00- のみ ※7月21日から8月24日は休止	家~し~園高のガイドツアー 9月4日(日) 11:00-	リクガメ 毎日 13:45-
生きものガイド 第3講 毎週土曜日 11:00- 5時迄	うらがわ探検ツアー 9月11日(日) 11:00-	チンチラ 毎日 16:30-
	ニシキヘビと記念撮影 カメラ 持ち 持ち 9月18日(日) 14:30-	鳥 虫 犬 牛 10:30-
		哺乳類 次 牛 15:00-
		大型鳥類 次 牛 11:30-
		ヘビ 牛 14:30-
		魚 鳥 14:00-
		フクロウ 日 15:00-

さばらの時期
食事風景を撮影
付きで見よう

(3) チラシ

本年度は10回のチラシを発行・配布を行いました。生物園内での配布はもちろん、区内の施設やイベント関係団体など幅広く配布を行いました。また昨年度に引き続き、東武動物公園の折り込みチラシにて、生物園の部分掲載を行いました。

発行日	種類	サイズ/仕様	部数	配布状況
5月10日	ホテル見night!	A5/両面白黒	2,000	生物園内で配布
6月23日	昼のホテル観賞会	A5/片面白黒	200	生物園内で配布
8月1日	解剖!魚の研究会	A5/片面白黒	200	生物園内で配布
9月8日	ヒツジの毛でクラフト	A5/片面白黒	200	生物園内で配布
9月20日	家族でつり教室	A4/片面白黒	1,000	生物園、荒川ビジターセンター、桑袋ビオトープ公園 足立区内上州屋2店舗にて配布
11月8日	わんフェス	A4/両面カラー	1,500	関係団体及び、生物園内で配布
12月5日	蜜蝋キャンドルを作ろう!	A5/片面白黒	200	生物園内で配布
12月9日	イカスミで書初め	A5/片面白黒	200	生物園内で配布
3月中旬	東武動物公園チラシ	A4/部分掲載カラー	20,000	東武線本線・東上線各駅に100~200枚設置、 近隣幼稚園・保育園へDM送付
3月17日	東武動物公園新聞折り込みチラシ	B4/部分掲載カラー	100,000	東武動物公園から約20km圏内に配布



(4) 中吊り広告

本年度は中吊り広告を4回掲載しました。初回は東武動物公園の中吊りの一部に掲載し、「移動動物園」の紹介を行いました。また秋季には元淵江公園の大型イベント「わんフェス」の全面広告を掲載、大きな反響がありました。



開始日	終了日	種類	サイズ	部数	配布状況
6月1日	6月30日	移動動物園(東武動物公園中づりの一部)	B2	約20,000	東武線全線
11月1日	11月30日	わんフェス	B2	150	東武バスセントラル(足立、葛飾など4営業所分)
11月7日	11月30日	わんフェス	B2	3,510	東武スカイツリーライン全線
3月1日	3月31日	生物園(東武動物公園中づりの一部)	B2	約20,000	東武線全線

(5) デジタルサイネージ

北千住駅前のデジタルサイネージにて、生物園情報を放映していただきました。本年度は、ゴールデンウィーク中の目玉イベント、金魚すくいの情報を放映していただきました。

足立区生物園 Adachi Park of Living Things **イベントのお知らせ** ADACHI CITY

どなたでも参加できます！

春の金魚すくい! 1ポイ100円 ※別途入園料必要

生物園恒例イベント、**金魚すくい!**
もちろん小赤だけじゃなく、
デメキンや**リュウキン**などもすくえます！

お一人様何ポイでも参加OK♪

持ち帰りは1ポイにつき5匹まで♪

すくえなかった方にも残念賞で
1匹差し上げます!

5月 **3** (火祝) **4** (水祝) **5** (木祝)

①午前 10:30~12:00
②午後 1:30~3:00

※就学前の子どもは保護者同伴
※定員：なし

第二章 生物飼育業務

I 生物飼育業務

1. 平成 28 年度の飼育状況

(1) 昆虫類

今年度、足立区生物園の昆虫類の飼育は、チョウ類、水生昆虫類、陸生昆虫類の 3 つの区分で管理を行いました。なお、分類学上昆虫ではないが、ホタルの餌用として飼育した貝類については、昆虫類のなかで扱うこととしました。

年間飼育種数は 237 種 35,558 頭(チョウ類 62 種 8,502 頭、ホタル類 3 種 991 頭、ホタルを除く水生昆虫類 17 種 531 匹ホタル餌用貝類 5 種 1,400 頭、バッタ目 33 種 3902 匹、陸生甲虫類 40 種 2763 匹その他の陸生昆虫 77 種約 17,597 頭)でした。

(2) 両生爬虫類

今年度、足立区生物園の両生爬虫類の飼育では、年間 72 種 333 匹(両生類: 29 種 227 匹、爬虫類: 43 種 106 匹) の飼育管理を行いました。

(3) 水族

水族の飼育管理を行う種は分類学上において多岐に渡るため、綱レベルでの区分とし飼育管理を行いました。水族の年間飼育種数は 229 種 4496 匹(うち魚類は軟骨魚類綱: 3 種 3 匹、条鰭綱: 77 種 2356 匹) でした。



平成28年度 水族飼育種数リスト

	綱	目数	種数	頭数
1	普通海綿綱	1	1	5
2	ヒドロ虫綱	1	1	5
3	鉢虫綱	1	1	25
4	花虫綱	4	18	74
5	渦虫綱	1	1	2
6	多板綱	1	4	30
7	腹足綱	6	49	530
8	二枚貝綱	1	1	20
9	頭足綱	1	1	20
10	多毛綱	4	6	22
11	カブトガニ綱	1	1	4
12	軟甲綱	3	37	889
13	ウミユリ綱	1	3	5
14	ヒトデ綱	2	5	242
15	クモヒトデ綱	2	6	76
16	ウニ綱	2	5	65
17	ナマコ綱	3	9	123
18	軟骨魚類綱	3	3	3
19	条鰭綱	13	77	2356
	合計	51	229	4496

(4) 鳥類哺乳類

今年度、足立区生物園の鳥類哺乳類の飼育では、年間 22 種 139 匹(鳥類: 10 種 36 羽、哺乳類: 12 種 103 頭) の飼育管理を行いました。

2. 各飼育区分の飼育種数および頭数のリスト

(1) チョウ類の年間飼育種数および頭数のリスト

チョウ類の管理は分類学上ではチョウ目のみとなるため、科（および亜科）による区分で飼育管理を行いました。

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考	
アゲハチョウ科	ジャコウアゲハ	110	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
	ベニモンアゲハ	179	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	キアゲハ	26	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
	シロオビアゲハ	609	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	カラスアゲハ	32	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	ナミアゲハ	627	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
	ナガサキアゲハ	381	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
	クローアゲハ	524	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
	オナガアゲハ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ	
	ギフチョウ	1	無	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
	ミカドアゲハ	2	有	大温室	屋外採集個体のみ	
	アオスジアゲハ	31	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	タテハチョウ科	マダラチョウ 亜科	リュウキュウアサギマダラ	1317	有	大温室
アサギマダラ			726	有	大温室	屋外採集個体を含む
オオゴマダラ			530	有	大温室	屋外採集個体を含む
ヒメアサギマダラ			23	有	大温室	屋外採集個体を含む
スジグロカバマダラ			100	有	大温室	屋外採集個体を含む
ツمامラサキマダラ			88	有	大温室	屋外採集個体を含む
タテハチョウ 亜科		カバタテハ	257	有	大温室	飼育個体のみ
		リュウキュウミスジ	2	有	大温室	屋外採集個体のみ
		ツマグロヒョウモン	202	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
		ミドリヒョウモン	10	有	大温室	屋外採集個体のみ
		メスグロヒョウモン	1	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
		イシガケチョウ	221	有	大温室	屋外採集個体を含む
		アカタテハ	9	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
		ヒメアカタテハ	1	有	大温室	屋外採集個体を含む
		ルリタテハ	5	有	大温室	屋外採集個体を含む
		コムスジ	2	有	大温室	屋外採集個体を含む
		オオムラサキ	20	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
		イチモンジチョウ	10	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
		タテハモドキ	741	有	大温室	屋外採集個体を含む
		ヤエヤマムラサキ	62	有	大温室	屋外採集個体を含む
ジャノメチョウ 亜科		リュウキュウムラサキ	14	有	大温室	屋外採集個体を含む
		コノハチョウ	55	有	大温室	飼育個体のみ
		キタテハ	3	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
		ジャノメチョウ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
		リュウキュウヒメジャノメ	146	有	大温室	屋外採集個体を含む
		ヒメジャノメ	3	有	昆虫ドーム	野外採集個体のみ
		クロヒカゲ	2	有	昆虫ドーム	野外採集個体のみ
		シロオビヒカゲ	2	無	大温室	飼育個体のみ
シロチョウ科		サトキマダラヒカゲ	49	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
		クロコノマチョウ	4	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ウスイロコノマチョウ	11	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	ヒメウラナミジャノメ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ	
	クロテンシロチョウ	211	有	大温室	飼育個体のみ	
	ツマベニチョウ	123	有	大温室	飼育個体のみ	
	モンシロチョウ	207	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
	スジグロシロチョウ	10	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
	モンキチョウ	29	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	ナミエシロチョウ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ	
キタキチョウ	379	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
ツマキチョウ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ		

シジミチョウ科	ヤマトシジミ	31	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ベニシジミ	86	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	コツバメ	2	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
	ムラサキツバメ	9	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ツバメシジミ	2	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
	ルリシジミ	5	有	大温室	屋外採集個体のみ
	ウラナミシジミ	21	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ウラギンシジミ	6	無	大温室	屋外採集個体のみ
	ツシマウラボシシジミ	232	有	大温室	飼育個体のみ
セセリチョウ科	イチモンジセセリ	6	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
総種数	62				
総個体数	8502				

(2) 水生昆虫類の年間飼育種数および頭数のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考	
コウチュウ目	ゲンジボタル	228	有	ホタル見night! 常設展	孵化幼虫数40,371頭	
	ヘイケボタル	623	有	ホタルの屋間観賞会 冬のホタル観賞会	羽化成虫(夏:318頭、冬:305頭) 孵化幼虫数40,371頭(夏:10,327頭、冬:6,402頭)	
	オオミズスマシ	45	有	ハンター展 水辺の生きもの展		
	クロゲンゴロウ	8	有	常設展		
	ゲンゴロウ	23	有	常設展		
	コガタノゲンゴロウ	2	有	常設展		
	ヒメゲンゴロウ	3				
	シマゲンゴロウ	20	有	常設展		
	コシマゲンゴロウ	3				
	コガムシ	6				
ガムシ	18	有	常設展			
カメムシ目	タガメ	59	有	常設展、虫の親子関係展		
	コオイムシ	49	有	常設展、虫の親子関係展 クリスマス展		
	オオコオイムシ	4				
	ミズカマキリ	5				
	タイコウチ	9	有	常設展		
	マツモムシ	70	有	常設展 夏の昆虫展		
トンボ目	コヤマトンボ	2			幼虫	
	コオニヤンマ	2			幼虫	
	オニヤンマ	2			幼虫	
	ギンヤンマ	10			幼虫	
	クロスジギンヤンマ	50	有	常設展 水辺の生きもの展	幼虫	
シオカラトンボ	25			幼虫		
ヘビトンボ目	ヘビトンボ	16	有	ようちえん展	幼虫	
カワゲラ目	オオヤマカワゲラ	20	有	ようちえん展	幼虫	
カゲロウ目	シロタニガワカゲロウ	30	有	ようちえん展	幼虫	
トビケラ目	ニンギョウトビケラ	25	有	ようちえん展	幼虫	
	ヒゲナガカワトビケラ	25	有	ようちえん展	幼虫	
吸腔目	カワニナ科	カワニナ	1,000	有	ホタル見night!	水生ホタル類幼虫の類として(数は概算)
原始紐舌目	タニシ科	タニシ	100	有	ホタル見night!	
有肺目	サカマキガイ科	モノアラガイ	100			
		ヒメモノアラガイ	100			
		サカマキガイ	100			
総種数	33					
総個体数	2,782					

(3) 陸生昆虫類の年間飼育種数および頭数のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
トビムシ目	トビムシの仲間	1000			
ゴキブリ目	ウルシゴキブリ	200			
	クロゴキブリ	200	有	ゴキブリ展 虫の親子関係展 生きものオリンピック展	
	コウモンゴキブリ	200	有	沖縄の虫たち展	
	ヤエヤママダダラゴキブリ	20	有	沖縄の虫たち展 ゴキブリ展	
	ホタルゴキブリ	300			
	チャバネゴキブリ	300			
	グリーンバナナゴキブリ	70	有	ゴキブリ展	
	グロウスボットローチ	70	有	生物園のハロウィン展	
	オガサワラゴキブリ	1000	有	ゴキブリ展 生きものタッチ展	
	オオゴキブリ	1			
	ヤエヤマオオゴキブリ	70	有	ゴキブリ展	
	サツマゴキブリ	15	有	ゴキブリ展	
	マルゴキブリ	25	有	沖縄の虫たち展	
	ヒメマルゴキブリ	200	有	ゴキブリ展	
	オブロンゴナータマダガスカルゴキブリ	150	有	生きものタッチ展 ゴキブリ展 生きものオリンピック展 生物園のバレンタイン展	
	インシグニスマダガスカルゴキブリ	70	有	ゴキブリ展	
	ヤヴァニカマダガスカルゴキブリ	170	有	ゴキブリ展 生物園のハロウィン展	
	ヴァンウェレベクキマダガスカルゴキ	90	有	ゴキブリ展	
	ヨロイモグラゴキブリ	2			
	ドミノゴキブリ	5	有	ゴキブリ展	
タイワンクチキゴキブリ	2				
メンガタゴキブリの一種	200		生物園のハロウィン展		
アルゼンチンモリゴキブリ	200				
シロアリ目	ヤマトシロアリ	50	有	親子関係展	
カマキリ目	オオカマキリ	500	有	虫のようちえん展 生物園のお正月展 ハンターな虫たち展	
	チヨウセンカマキリ	1			
	ウスバカマキリ	6			
	ハラビロカマキリ	500	有	足立の生きもの観察室 生きものオリンピック展 生物園のお正月展 ハンターな虫たち展	
	コカマキリ	3			
	ヒナカマキリ	2			
ハサミムシ目	ハマベハサミムシ	150	有	虫の親子関係展	
ナナフシ目	オキナワナナフシ	200	有	大温室前室 生きものタッチ展 虫の親子関係展 沖縄の虫たち展 生物園のハロウィン展	
	タイワントビナナフシ	200		虫のようちえん展	
	ナナフシモドキ	2			
	コバナナフシ	100	有	奇々怪々な蟲展 生きものタッチ展 沖縄の虫たち展	
	ツダナナフシ	50	有	沖縄の虫たち展	
ガロアムシ目	ガロアムシ	3			
バッタ目	ダイトウクダマキモドキ	60	有	生きものオリンピック展 沖縄の虫たち展	
	ヤブキリ	12			
	オナガササキリ	5	有	鳴く虫展	
	キリギリス	15	有	鳴く虫展 休憩コーナー	
	クサキリ	10			
	ヒメギス	1			
	ハタケノウマオイ	5	有	鳴く虫展	
	クツムシ	15	有	鳴く虫展	
	タイワンクツムシ	50	有	虫の親子関係展	
	カンタン	7	有	鳴く虫展	
	マツムシ	22	有	鳴く虫展	
	マダラコオロギ	1			
	スズムシ	30	有	鳴く虫展	
	マダラスズ	12	有	鳴く虫展	
	シバズ	2	有	鳴く虫展	
	ヒゲシロスズ	2	有	鳴く虫展	
	ヤエヤマクチキコオロギ	50	有	沖縄の虫たち展	
	フタホシコオロギ	1600	有	鳴く虫展	
	ヨーロッパイエコオロギ	1500			毎週購入
	エンマコオロギ	100	有	鳴く虫展	
	ハラオカメコオロギ	5	有	鳴く虫展	
	ミツカドコオロギ	10	有	鳴く虫展	
	ツツレサセコオロギ	5	有	鳴く虫展	
	クマスズムシ	8			
	ツチイナゴ	10			
	ヤマクダマキモドキ	1			
	ヒメクダマキモドキ	2			
	ケラ	2			

バッタ目	ショウリヨウバッタ	10	有	鳴く虫展 昆虫ドーム	
	トノサマバッタ	10		生きものオリンピック展	
	オキナワモリバッタ	100			
	イシガキモリバッタ	120			
	イリオモテモリバッタ	120	有	大温室前室 虫のようちえん展 沖縄の虫たち展 生物園のバレンタイン展	
カメムシ目	シロモンオオサンガメ	70	有	奇々怪々な蟲展 虫のようちえん展 生きものオリンピック展 ハンターな虫たち展	
	オオトビサシガメ	1			
	ナナホシキンカメムシ	3			
	ミヤコキンカメムシ	1			
	アシプトメミズムシ	10	有	沖縄の虫たち展	
コウチュウ目	マイマイカブリ	8	有	ハンターな虫たち展	
	ハンミョウ	4			
	オオシママドボタル	140	有	奇々怪々な蟲展 虫のようちえん展 沖縄の虫たち展 ハンターな虫たち展	
	センチコガネ	5	有	らんち展	
	カブトムシ	250	有	虫のようちえん展 カブトムシ・クワガタムシ展 生きものオリンピック展 休憩コーナー	
	アトラスオオカブト	6	有	カブトムシ・クワガタムシ展	
	コーカサスオオカブト	19	有	カブトムシ・クワガタムシ展	
	アクティオンゾウカブト	1			
	ヒルスシロカブト	1	有	カブトムシ・クワガタムシ展	
	ヘラクレスオオカブト	20	有	生きものタッチ展 カブトムシ・クワガタムシ展 生きものオリンピック展 生物園のクリスマス展	
	ネプチューンオオカブト	1	有	カブトムシ・クワガタムシ展 生きものオリンピック展	
	マレーテナガコガネ	31			
	ミヤマクワガタ	15	有	カブトムシ・クワガタムシ展	
	コクワガタ	5	有	カブトムシ・クワガタムシ展	
	スジクワガタ	1			
	オオクワガタ	23	有	カブトムシ・クワガタムシ展	
	チビクワガタ	50	有	虫の親子関係展 カブトムシ・クワガタムシ展	
	サキシマヒラタクワガタ	8	有	沖縄の虫たち展	
	バラワンオオヒラタ	3	有	カブトムシ・クワガタムシ展	
	ニジイロクワガタ	5	有	カブトムシ・クワガタムシ展	
	ノギリクワガタ	10	有	カブトムシ・クワガタムシ展	
	ハチジョウノギリクワガタ	2			
	ギラファノギリクワガタ	18	有	カブトムシ・クワガタムシ展 生きものオリンピック展	
	モニツケノギリクワガタ	2	有	カブトムシ・クワガタムシ展	
	クワカミキリ	1			
	シロテンハナムグリ	1			
	アオカナブン	2			
	クロカナブン	2			
	ヨツボシモンシデムシ	30	有	虫の親子関係展	
	コクロシデムシ	2			
	キマワリ	15			
	チャイロコメノゴミシダマシ	2000			通称:ミルワーム 餌用として飼育
	イタドリハムシ	10			
	ナナホシテントウ	20	有	虫のようちえん展	
	ナミテントウ	1	有	虫のようちえん展	
	ダンダラテントウ	2	有	虫のようちえん展	
	コフキゾウムシ	5			
	スグリゾウムシ	1			
	オオゾウムシ	3			
		クロカタゾウムシ	40	有	大温室前室 奇々怪々な蟲展 生きものタッチ展 生物園のお正月展 沖縄の虫たち展
アミメカゲロウ目	ウスバカゲロウ	5	有	ハンターな虫たち展	
ハエ目	ショウジョウバエ	1000			
ハチ目	クロオオアリ	16	有	足立の生きもの観察室 虫の親子関係展	
	ムネアカオオアリ	3	有	生きものオリンピック展	
	ウメマツオオアリ	23			
	イエヒメアリ	2			
	オオズアリ	10			
	オオシワアリ	8			
	ギアシナガハチ	20	有	虫の親子関係展	
セイヨウミツハチ	10000	有	バタフライガーデン		
サソリ目	ヤエヤマサソリ	9	有	沖縄の虫たち展	
	ダイオウサソリ	7	有	奇々怪々な蟲展 虫の親子関係展 ハンターな虫たち展	
サソリモドキ目	タイワンサソリモドキ	5	有	奇々怪々な蟲展 沖縄の虫たち展 ハンターな虫たち展	
ヤスデ綱	ヤスデの一種	3	有	奇々怪々な蟲展	
ゲジ目	オオゲジ	5			

オオムカデ目	トビズムカデ	2	有	奇々怪々な蟲展 虫の親子関係展 ハンターな虫たち展	
クモ目	メキシカン・ピンク(タランチュラ)	1	有	奇々怪々な蟲展 生物園のクリスマス展	
	タランチュラの種類	1	有	奇々怪々な蟲展 生物園のハロウィン展	
	ウズグモの種類	5	有	ハンターな虫たち展	
	チャスジハエトリ	3	有	ハンターな虫たち展	
	アダンソンハエトリ	6			
	オオヒメグモ	1	有	ハンターな虫たち展	
	オニグモの種類	2			
	ユウレイグモ	2			
	ナゴコガネグモ	1	有	生きものオリンピック展	
	アツチグモ	1			
	ハラナガヒシガタグモ	1			
	キグツキコモリグモ ジグモ	1			
ワラジムシ目	オカダンゴムシ	60	有	休憩コーナー 生きものオリンピック展 生物園の母の日展	
有肺目	カタツムリの仲間	100	有	休憩コーナー	
	ミスジマイマイ	12	有	奇想天貝 うたのほかの生きもの展	
	ヒダリマキマイマイ	5	有	生きものオリンピック展	
	アシヒダナメクジ	3	有	奇想天貝	
総種数	151				
総個体数	24402				

(4) 両生爬虫類の年間飼育種数および頭数のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考	
無尾目	モリアオガエル	4				
	トウキョウダルマガエル	6	有	常設展 オリンピック展		
	トノサマガエル	1				
	アマガエル	10	有	常設展 水辺展 うた展		
	サドガエル	5				
	ヒキガエル	6	有	常設展 ふれあい展 うた展		
	アフリカツメガエル	60	有	常設展		
	マダラヤドクガエル	10			繁殖のためバックで飼育	
	キオビヤドクガエル	1			繁殖のためバックで飼育	
	ヤドクガエル類	50			繁殖個体(F1)	
	ベルツノガエル	1	有	常設展		
	リュウキウウカジガエル	2				
	サキシマヌマガエル	1				
	ハナサキガエル	1				
	ヒメアマガエル	4				
	ヤエヤマアオガエル	1				
	カジガエル	1				
	ニホンアカガエル	10				
ヤマアカガエル	10					
有尾目	アカハライモリ	12	有	常設展 ハロウィン展 ふれあい		
	メキシコサラマンダー	白	4	有	常設展 Xmas展	
		黒	2	有	常設展	
	シリケンイモリ	1				
	オオサンショウウオ	1				
	ハコネサンショウウオ	3				
	トウキョウサンショウウオ	1				
	トウホクサンショウウオ	3				
	クロサンショウウオ	13				
	マーブルサラマンダー	2	有	常設展		
	タイガーサラマンダー	1	有	常設展		
	キバラガメ	1				
カメ目	クサガメ	成体	2	有	ふれあい 水辺展	
		幼体	8	有	母の日展	
	ワニガメ	1				
	スッポンモドキ	1	有	常設展		
	ヤエヤマイシガメ	2	有	お正月展		
	チリメンナガクビガメ	1	有	常設展		
カロリナハコガメ	2	有	常設展			

カメ目							
	インドホシガメ	4	有	常設展			
	ヒョウモンリクガメ	1	有	常設展			
	ケヅメリクガメ	3	有	常設展			
	アカアシガメ	4	有	出張生物園			
	パンケーキリクガメ	1	有	常設展			
	ウンキョウ	2					
	ニホンイシガメ	4	有	常設展		生息域外保全個体(3匹)	
	ニシキマゲクビガメ	1	有	常設展			
有鱗目	フトアゴヒゲトカゲ	1	有	常設展			
	トッケイヤモリ	1	有	常設展			
	ヒョウモントカゲモドキ	8	有	常設展	ふれあい		
	オオアオジトカゲ	1	有	常設展			
	インドシナウオータードラゴン	2	有	常設展			
	ミナミヤモリ	3	有	常設展			
	オキナワヤモリ	1					
	ホオグロヤモリ	3					
	イシガキトカゲ	1					
	ニホンヤモリ	10				ヘビ類のエサ用としても飼育	
	キノボリトカゲ	7					
	ニホンカナヘビ	2					
	ヒガシニホントカゲ	2					
	パーバートカゲ	1					
	オカダトカゲ	2					
	ヘビ目	ビルマニシキヘビ	2	有	常設展		
		ミドリニシキヘビ	1	有	常設展		
		ボアコンストリクター	3	有	常設展		
		ヒバカリ	1				
		シマヘビ	4	有	足立の自然 プログラム		
		ジャングルカーベットパイソン	1	有	常設展	ふれあい	
		ポールパイソン	2	有	常設展	ふれあい	
		ペーレンニシキヘビ	2	有	常設展		
		カリフォルニアキングスネーク	1	有	お正月展		
		カンムリヘビ	1	有	常設展		
		ミルクヘビ	1	有	X'mas展 ハロウィン展		
		アオダイショウ	3	有	常設展 プログラム		
ナンダ		1					
総種数		72					
総個体数	333						

(5) 水族の年間飼育種数および頭数のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考	
軟骨魚類	メジロザメ目	ドチザメ	1	有	常設展	
	ネコザメ目	ネコザメ	1	有	常設展	
	ガンキエイ目	ウチワザメ	1	有	常設展	
条鰭類	ガー目	スポッテッドガー	1	有	常設展	
		ピラルクー	3	有	常設展	
		シルバーアロワナ	3	有	常設展	
		アジアアロワナ	1	有	常設展	高背金龍
		アジアアロワナ	2	有	常設展	紅尾金龍
	ウナギ目	ウナギ	3	有	水辺の生きもの展	
		トラウツボ	1	有	常設展	
		ハワイウツボ	1	有	常設展	
		ニシキアナゴ	3	有	常設展	
		チニアナゴ	9	有	常設展	
	コイ目	キンブナ	5	有	常設展、水辺の生きもの展	
		キンギョ	1500	有	常設展	
		ソウギョ	1	有	常設展	
		Tor属の一種	2	有	常設展	流通名:アロワナカーブ
		レッドフィンバルブ	8	有		
		コイ	1	有		
		ニシキゴイ	3	有		流通名:ヒレナガコイ
		モツゴ	20	有	常設展、水辺の生きもの展、出張生物園	
		タイリクバラタナゴ	15	有	常設展、水辺の生きもの展	
		ガラ・ルフ	150	有	生きものタッチ展	
		シルバーシャーク	10	有		
		レインボーシャーク	30	有	常設展	
	クラウンローチ	3	有	常設展		
	ドジョウ	4	有	常設展、水辺の生きもの展		
	カラシン目	ネオンテトラ	6	有	オリンピック展	
	ナマズ目	ナマズ	1	有	常設展、水辺の生きもの展	
		コリドラス・ジュリー	1	有	常設展	
		コリドラスステルバイ	2	有	常設展	
	トゲウオ目	ヨウジウオ	14	有	常設展	
		オクヨウシ	5	有	常設展	
		サンゴタツ	20	有	常設展	
		オオウミウマ	2	有	常設展	
	タウナギ目	ファイヤースパイニーイール	1	有	常設展	流通名:レッドスパイニーイール
	ダツ目	メダカ属の一種	30	有	常設展	流通名:クロメダカ、ダルマメダカ等
		ヒメダカ	30	有	常設展	宇宙メダカ

カダヤシ目	グッピー	100	有	母の日展・バレンタイン展	
	セイルフィン・モーリー	10	有	常設展	流通名: ゴールデンモーリー
		10	有	常設展	流通名: ブラックモーリー
	サザンブラティフィッシュ	10	有	常設展	流通名: サンセットタキソードブラティ
		10	有	常設展	流通名: フルーダキソードブラティ
		10	有	常設展	流通名: ミッキーマウスブラティ
	コクチモーリー	10	有	常設展	流通名: シルバーライヤーモーリー
スズキ目		10	有	常設展	流通名: ブラックゴールデンライヤーモーリー
		10	有	常設展	流通名: プラットオレンジライヤーモーリー
	マンジュウイシモチ	6	有		
	アマノガワテンジクダイ	5	有	常設展	
	クロサギ	1	有	常設展	
	カゴカキダイ	15	有	常設展	
	ヒメツハメウオ	8	有	常設展	
	テッポウウオ属	10	有	常設展	流通名: テッポウウオ
	シュードトロフェウス・ロンパロイ	9	有	常設展	流通名: ゴールデンセブラシクリッド
	Pseudotropheus sp.	9	有	常設展	流通名: レッドセブラシクリッド
	ラビドクレミス・カエルレウス	12	有	常設展	流通名: スノーホワイトシクリッド
	ネオランブローグス・プリチャージ	30	有	常設展	
	クダゴンベ	10	有	常設展	
	クマノミ	1	有	常設展	
	カクレクマノミ	5	有	常設展	
	テバスズメダイ	30	有	常設展	
	ミスジリュウキュウスズメダイ	13	有	常設展	
	オヤビッチャ	7	有	常設展	
	ソラスズメダイ	20	有	常設展	
	ルリスズメダイ	20	有	常設展	
	リボンスズメダイ	20	有	常設展	
	ネツタイスズメダイ	1	有	常設展	
	シマスズメダイ	1	有	常設展	
	トサカキンボ	10	有	常設展	
	ミチミトビハゼ	20	有	常設展	
	ハタテハゼ	10	有	常設展	
	キヌバリ	10	有	常設展	
	チャガラ	3	有	常設展	
	アゴハゼ	5	有	タッチプール	
	ニクハゼ	5	有	常設展	
	チチブ	3	有	常設展	
	ヨシノボリ属	4	有	常設展、水辺の生きもの展	
	キイロハギ	1	有	常設展	
	ナンヨウハギ	5	有	常設展	
	ギンユゴイ	5	有	常設展	
	カサゴ目	アサヒアナハゼ	3	有	常設展
フグ目	アミメハギ	15	有	常設展	
	クサフグ	1	有	常設展	
	総種数	83			
	総個体数	2407			

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考	
磯海綿類						
磯海綿目	クロイソカイメン	5	有	タッチプール		
ヒトコ虫類						
Anthoathecata目	センナリウミヒドラ	5	有	タッチプール		
鉢虫類						
旋口クラゲ目	ミズクラゲ	25	有	常設展		
花虫類						
ウミトサカ目	ヤワタコアシカタサカ	3	有			
	ブルームウミアザミ	6	有			
	イソバナ	5	有	タッチプール		
	ウミツタ	1	有	常設展		
	ムラサキウミツタ	5	有	常設展		
	イソギンチャク目	ウメボシイソギンチャク	5	有	タッチプール	
		ミドリイソギンチャク	1	有	タッチプール	
		キツカイイソギンチャク	1	有	タッチプール	
		シマキツカイイソギンチャク	1	有	タッチプール	
		サンゴイソギンチャク	10	有	タッチプール、常設展	
ホネナシサンゴ目	ベニヒモイソギンチャク	10	有	タッチプール		
	ディスクコーラル	10	有	常設展		
イシサンゴ目	ウスコモンサンゴ	1	有	常設展		
	ユエダチガレハナサンゴ	1	有	常設展		
	ナガレハナサンゴ	3	有	常設展		
	コハナカタサンゴ	5	有	常設展		
	ハナカタサンゴ	3	有	常設展		
	ヒユサンゴ(オオバナサンゴ)	3	有	常設展		
渦虫類						
多板類	オオツノヒラムシ	2	有	タッチプール		
クサズリガイ目	ウスヒザラガイ	5	有	タッチプール		
	ヒメケハダヒザラガイ	10	有	タッチプール		
	ヒザラガイ	5	有	タッチプール		
	ケムシヒザラガイ	10	有	タッチプール		
腹足類						
カサガイ目	クサイロアオガイ	10	有	タッチプール		
	オトメガサ	10	有	タッチプール		
	スカシガイ	10	有	タッチプール		
	クボガイ	30	有	タッチプール		
	クマノコガイ	30	有	タッチプール		
	パテイラ	15	有	タッチプール		
	アシヤガイ	10	有	タッチプール		
	ウスイチモンジ	10	有	タッチプール		
	ナツモモ	5	有	タッチプール		
	キンシハイ	2	有	タッチプール		
	イシタタミ	30	有	タッチプール		
	クビレクロツケ	30	有	タッチプール		
	エビスガイ	5	有	タッチプール		
	スガイ	30	有	タッチプール		
	ササエ	3	有	タッチプール		
	コシダカサザエ	5	有	タッチプール		
	ウラウスガイ	10	有	タッチプール		

アマオブネガイ目	アマオブネガイ	20	有	タッチプール	
吸殻目	ホソウミニナ	20	有	タッチプール	
	キバウミニナ	10	有	常設展	
	マガキガイ	74	有	常設展・タッチプール	
	オオヘビガイ	3	有	タッチプール	
	ホシキヌタ	2	有	タッチプール	
	メダカラ	2	有	タッチプール	
	ナシジダカラ	1	有	タッチプール	
	ボウシュウボラ	3	有	タッチプール	
	アカニシ	1	有	タッチプール	
	イボニシ	10	有	タッチプール	
	レイシ	10	有	タッチプール	
	シワホラダマシ	10	有	タッチプール	
	イソニナ	30	有	タッチプール	
	タマキビ製新生産足目	タマキビ	20	有	タッチプール
後鰓目	ヒラミルミドリガイ	3	有	タッチプール	
	クロヘリアメフラシ	1	有	タッチプール	
	ウミフクロウ	2	有	タッチプール	
	マダラウミウシ	3	有	タッチプール	
	クモガタウミウシ	1	有	タッチプール	
	ネズミウミウシ	1	有	タッチプール	
	センリョウウミウシ	1	有	タッチプール	
	コモンウミウシ	3	有	タッチプール	
	アオウミウシ	15	有	タッチプール	
	ウスイロウミウシ	3	有	タッチプール	
	シロウミウシ	10	有	タッチプール	
	キイロウミウシ	1	有	タッチプール	
	ミヤコウミウシ	1	有	タッチプール	
	ミソレウミウシ	1	有	タッチプール	
	サメジマウミウシ?	1	有	タッチプール	
	ズリベウミウシ	2	有	タッチプール	
	ハダカカメガイ	20			
	二枚貝類	マルスダレガイ目	アサリ	20	
頭足類	ダンゴイカ目	ヒメイカ	20	有	常設展
多毛類	サシバゴガイ目	サンハチウロコムシ	3	有	タッチプール
		オトヒメゴカイ	3	有	タッチプール
	ケヤリムシ目	ケヤリムシ	3	有	タッチプール
	スピオ目	ミスヒキゴカイ	1	有	タッチプール
		クマアサツキ	6	有	タッチプール
	フサゴガイ目	ニッポンフサゴカイ	6	有	タッチプール
カブトガニ類	カブトガニ目	アメリカカブトガニ	4	有	常設展
軟甲類	端脚目	オオワレカラ	50	有	常設展
	等脚目	シカツノウミクワガタ	10		
		イノハラムシ	5	有	タッチプール
	十脚目	カワリヌマエビ属	20	有	
		コンシマカリモエビ	100	有	常設展
		イソシエビ	100	有	常設展
		アメリカザリガニ	20	有	水辺の生きもの展、出張生物園、常設展
		ホンデオニヤドカリ	10	有	タッチプール
		ツメナガヨコバサミ	10	有	常設展
		イノヨコバサミ	50	有	タッチプール
		ケブカヒメヨコバサミ	40	有	タッチプール
		ソメンヤドカリ	9	有	タッチプール
		イシダタミヤドカリ	4	有	タッチプール
		ホンヤドカリ	90	有	タッチプール
		ヤマトホンヤドカリ	15	有	タッチプール
		ケアシホンヤドカリ	50	有	タッチプール
		ホシハラホンヤドカリ	65	有	タッチプール
		ベニホンヤドカリ	1	有	タッチプール
		イソカナダマシ	5	有	タッチプール
		イボトゲガニ	1	有	タッチプール
		シヨウジンガニ	10	有	タッチプール
		イソガニ	10	有	タッチプール
		アカイソガニ	3	有	タッチプール
		ヒメアカイソガニ	2	有	タッチプール
		イソクズガニ	30	有	タッチプール
		ヨツハモガニ	2	有	タッチプール
		オウギガニ	70	有	タッチプール
		トガリオウギガニ	11	有	タッチプール
		ヒツメガニ	20	有	タッチプール
		スペースマンジュウガニ	3	有	タッチプール
		ヒメソバカラガニ	3	有	タッチプール
	クロベンケイガニ	20	有	常設展、出張生物園	
	ベンケイガニ	10	有	常設展、水辺の生きもの展、出張生物園	
	オキナフハクセンシオマネキ	10	有	常設展	
	ヒメシオマネキ	10	有	常設展	
	ベニシオマネキ	10	有	常設展	
	ヤエヤマシオマネキ	10	有	常設展	
ウミウリ類	ウミウシ目	トゲバネウミウシ	1	有	タッチプール
		ニッポンウミウシ	3	有	タッチプール
		オオウミウシ	1	有	タッチプール
ヒトデ類	マヒトデ目	ヤツデヒトデ	70	有	常設展
		イトマキヒトデ	100	有	常設展、生きものタッチ展、タッチプール
	アカヒトデ目	アカヒトデ	70	有	常設展・タッチプール
		アオヒトデ	1	有	常設展
		カワテフクロ	1	有	常設展
クモヒトデ類	ツルクモヒトデ目	セノテツルモツル	1	有	タッチプール
		アカクモヒトデ	6	有	タッチプール
		トウメクモヒトデ	10	有	タッチプール・出張生物園
	クモヒトデ目	ニホンクモヒトデ	50	有	常設展・タッチプール・出張生物園
		ウデナガクモヒトデ	1	有	タッチプール
		ナガトゲクモヒトデ	8	有	タッチプール

ウニ類					
拱歯目	アカウニ	1	有	タッチプール	
	サンショウウニ	5	有	タッチプール	
	ムラサキウニ	27	有	タッチプール	
	ハブウニ	16	有	タッチプール	
タコノマクラ目	タコノマクラ	16	有	タッチプール	
ナマコ類					
無足目	ムラサキクマナマコ	5	有	タッチプール	
マナマコ目 (楯手目)	アカオニナマコ	1	有	タッチプール	
	イノナマコ	19	有	タッチプール	
	テツイロナマコ	4	有	タッチプール	
	ドラフナマコ	46	有	常設展・タッチプール	
	フジナマコ	3	有	タッチプール	
	ニセクロナマコ	16	有	常設展・タッチプール	
	マナマコ	26	有	常設展・タッチプール	
	楯手目	ムラサキグミモドキ	5	有	タッチプール
総種数		149			
総個体数		2139			

(6) 鳥類の年間飼育種数および頭数のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	備考	
鳥類	カモ目	アイガモ	1	有	里山のいけ家畜型
		コクチョウ	1	有	オージードーム
	オウム目	ゴシキセイガイインコ	1	有	オージードーム
		オカメインコ	19	有	オージードーム
		ワカナインコ	1	有	オージードーム
		アキクサインコ	1	有	オージードーム
		セキセイインコ	6	有	オージードーム
	キジ目	オヒキチャボ	2	有	干支の記念撮影
		ゴイシチャボ	2	有	干支の記念撮影
	フクロウ目	ホンドフクロウ	2	有	里山のいきもの
	総種数		10		
	総個体数		36		

(7) 哺乳類の年間飼育種数および頭数のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	備考	
哺乳類	カンガルー目	オオカンガルー	1	有	オージードーム
		バルマワラビー	4	有	オージードーム
	ウサギ目	カイウサギ	2	有	ふれあいコーナー
	げっ歯目	テンジクネズミ	50	有	ふれあいコーナー
		フクロモモンガ	1	有	
		ヒメハリテンレック	4	有	ふれあい展
		チンチラ	31	有	観察展示室
		シマリス	2	有	出会いの広場
	サル目	コモンリスザル	1	有	ふれあいコーナー
	食肉目	ネコ	3	有	きつずル 家畜種:雑種
	奇蹄目	ウマ	1	有	ふれあい 家畜種:ミゼットホース
	偶蹄目	ヒツジ	3	有	ふれあい 家畜種:コリデール
総種数		12			
総個体数		103			

3. 特記事項

(1) チョウ類の月別放蝶実績

今年度は各月 10 種 500 頭以上の放蝶数を達成することができました。以下に各月の放蝶種と頭数の一覧を報告します。

平成 28 年度月別放蝶実績

分類	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計		
アゲハチョウ科	ナミアゲハ	46	38	21	86	57	51	52	159	70	8	19	20	627		
	クロアゲハ	45	52	10	32	21	55	25	55	29	58	20	122	524		
	シロオビアゲハ	41	143	13	27	18	51	38	89	92	38	22	37	609		
	ナガサキアゲハ	42	20	46	33	22	8	84	13	58	20	20	15	381		
	オナガアゲハ					1								1		
	キアゲハ	4		1	2		7	7	4	1				26		
	カラスアゲハ	8		3				13	6	1	1			32		
	アオスジアゲハ			9	3	9	5	2	1	1	1			31		
	ジャコウアゲハ	2	9	9	23	40	15	2		2		4	4	110		
	ベニモンアゲハ	30	15	44	7	45	10	7	6	1	10		4	179		
	ギフチョウ	1													1	
	ミコトアゲハ								1					1	2	
	タテハチョウ科	マダラチョウ亜科	オオゴマダラ	20	39	17	31	14	36	42	29	146	72	61	23	530
リュウキュウアサギマダラ			113	135	128	35	41	135	126	120	51	232	102	99	1317	
スジグロカバマダラ			9	11	19	18	4	11	5	14	2	4		3	100	
ヒメアサギマダラ										2	5	6	6	4	23	
アサギマダラ				54	23		10	32	101	14	216	18	106	152	726	
ツマムラサキマダラ			1	6	1	1	24	4	12	15	4	5	12	3	88	
ミドリヒョウモン					10										10	
タテハチョウ亜科		メスグロヒョウモン		1											1	
		ツマグロヒョウモン	7			1	42	10	24	7	73	16	11	11	202	
		コムシジ			1	1									2	
		リュウキュウミスジ								2					2	
		キタテハ							3						3	
		アカタテハ							7	2					9	
		ヒメアカタテハ							1						1	
		ルリタテハ	1						3	1					5	
		イチモンジチョウ	2	5		3									10	
		インガケチョウ	6		45	51	53			8	26	18	12	2	221	
		タテハモドキ	125	116	117	119	52	35	68	20	12	39	38		741	
		ヤエヤマムラサキ								62					62	
		リュウキュウムラサキ				1				10					14	
		コノハチョウ	3	2	4		8	2	14	2		19		1	55	
		オオムラサキ				7	12	1							20	
		カバタテハ	1	27	33	29	15	8	21	11	19	32	32	29	257	
		ジャノメチョウ亜科	リュウキュウヒメジャノメ	70	1	4		1	2	23		3	28	4	10	146
			ヒメジャノメ		3											3
サトキマダラヒカゲ					6		25	18							49	
ウスイロコノマチョウ			2							1		8			11	
クロコノマチョウ							2	1	1						4	
ヒメウラナミジャノメ							1								1	
クロヒカゲ				2											2	
シロオビヒカゲ			2												2	
ジャノメチョウ						1								1		
シロチョウ科		モンシロチョウ	27	18	12	6		3	28	6	3		2	102	207	
	スジグロシロチョウ	1	8			1								10		
	ツマキチョウ	1												1		
	モンキチョウ		4		2		8	15						29		
	キタキチョウ	6	28	42	86	8	20	54	56	44	25	3	7	379		
	クロテンシロチョウ	11	16	21	1					20	40	48	54	211		
	ツマベニチョウ	24	9	27	8	2	4		20	1	22	1	5	123		
	ナミエシロチョウ								1					1		
	ムラサキツバメ				3	4	2							9		
シジミチョウ科	ルリシジミ	3		2										5		
	コツバメ	2												2		
	ツバメシジミ			1			1							2		
	ベニシジミ	16			35	20		5					10	86		
	ウラナシジミ						5	16						21		
	ヤマトシジミ	5		3			10	10	2				1	31		
	ウラギンシジミ	1	1	2			1					1		6		
	ツンマウラボシシジミ	23		79		10	97		23					232		
セセリチョウ科	イチモンジセセリ			1	3			2						6		
合計種数		34	27	32	28	30	31	31	32	24	23	20	25	62		
合計頭数		700	764	754	654	563	648	811	762	880	720	524	722	8502		

(2) ツシマウラボシシジミの生息域外保全

昨年度に引き続き、ツシマウラボシシジミの生息域外保全の取り組みを行いました。今年度の詳細な飼育状況については、添付資料「平成28年度「足立区生物園におけるツシマウラボシシジミの生息域外保全への取り組みについて」」をご確認ください。また、今年度は本取り組みを以下の場に投稿をおこないました。

平成28年度 ツシマウラボシシジミ生息域外保全についての投稿

発表・投稿先	タイトル	備考
東京動物園協会発行「どうぶつと動物園」	足立区生物園におけるツシマウラボシシジミ生息域外保全への取り組みについて	執筆依頼による

(3) ホタルの飼育展示実績

今年度、水生ホタル類2種（ゲンジボタル、ヘイケボタル）の観賞会において、以下の通り各種個体数を展示することができました。

平成28年度 ホタル見 night!の展示頭数

	6/3	6/4	6/5	6/10	6/11	6/12	6/17	6/18	6/19	計
ゲンジボタル	80	80	90	100	100	100	80	80	75	785
ヘイケボタル	0	0	0	10	10	10	10	10	10	60

※合計は延べ展示数

平成28年度 昼のホタル観賞会（夏季）の展示頭数

	7/2	7/3	7/10	7/11	7/16	7/17	7/18	計
ヘイケボタル	70	70	90	90	90	90	90	590

※合計は延べ展示数

平成28年度 冬のホタル観賞会（光の祭典）の展示頭数

	11/26	11/27	12/3	12/4	12/10	12/11	12/17	12/18	12/23	12/24	12/25	計
ヘイケボタル	25	30	35	35	35	35	35	35	35	30	30	360
オオシマボタル	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	330

※合計は延べ展示数

平成28年度 昼間ホタル観賞会（冬季）の展示頭数

	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	計
ヘイケボタル	35	35	30	30	25	155
オオシマボタル	30	30	30	30	30	150

※合計は延べ展示数

(4) 「ホタルのタベ」実現に向けたとりくみ

平成30年に「ホタルのタベ」を再開するため、今年度は以下の点について取り組みましたので報告します。

① ゲンジボタルの飼育個体数増加の取り組みについて

孵化した幼虫の室内飼育を継続し、ある程度まで成長した個体は上陸水路へ放流しまし

た。今年度はすべて放流するのではなく、一定数の室内飼育を継続し、室内で終齢幼虫まで育て、生存率を高める試みを行いました。

上陸水路の環境整備も行いました。土壌の水分保持や病原菌などを抑えるために、細断した水苔や燻炭、有機石灰などを土壌内に鋤きこみ土壌環境の改良を行いました。また、上陸時の幼虫の脱走を避けるため、幼虫が登りにくい農業用のプラスチックシートを上陸水路内壁に設置しました。

② ハイケボタルの飼育個体数増加の取り組みについて

飼育の安定化と作業の効率化のため、幼虫の飼育トレイをより大型のものに変更しました。これにより飼育容器内の水量が増え、水質が安定し、より多く餌を与えることができました。また従来の室内に加え、冬季は屋外での幼虫飼育を行いました。これによりスペースの限られたインキュベーターでの過密な飼育を改善できるほか、ホタルに自然光と外気温の変化を感じさせることで自然界に近いライフサイクルで飼育できるようになりました。

③ 水生巻貝類の個体数増加に向けた取り組みについて

今年度は従来のカワニナのほかに新たにタニシを餌として導入しました。タニシの飼育は、今まであまり活用されてなかったドーム横の水路と庭園の池で行いました。どちらも放流した個体が順調に成長し、個体数も増加しました。これにより従来使用していたカワニナはゲンジボタルの幼虫に与え、新たに導入したタニシはハイケボタルに与え、カワニナの消費を抑えることができました。

④ 展示実現に向けた課題抽出について（昆虫ドームの改善について）

今年度、新たに農業用防草シートの導入を行いました。従来使用していた遮光シートでは目が粗く、光を透過してしまい特に昆虫ドームでは外灯とマンションからの漏れる明りによってホタルに最適な暗さが確保できませんでした。この防草シートは目が細かく完全に光を遮ることができるので十分な暗さが確保できます。また軽くて加工もしやすいことからかなり適した素材と言えます。

来年度はドーム内での観察や歩行のしやすいように暗さの調整やお客様とホタルを分けるネットなどホタルの夕べを開催するに適した素材と方法を検討します。

⑤ 今後の取り組みについて

今年度は、昨年度に引き続きゲンジボタルハイケボタルともに羽化率の向上、そして新たに飼育を安定化させることに重点を置いて飼育管理を行いました。今後はホタルの夕べに向けてさらなる個体数の増加と昆虫ドームでの具体的な展示方法について検討を行います。

「ホタルのタベ」開催に向けた年度ごとの重点取り組み

年度	ホタルの飼育			展示方法の検討
	ゲンジボタル	ヘイケボタル	エサ用水生巻貝類	
平成26年度	飼育環境(上陸水路)の改善	飼育個体数の増加 飼育方法の簡略化	飼育環境(水路)の改善	昆虫ドームへの放虫試験
平成27年度	飼育個体数の増加 羽化率向上への取り組み	羽化率向上への取り組み	飼育環境(水路)の改善	遮光材の検討と試行 ドーム内放虫方法の検討
平成28年度	飼育個体数の増加 羽化率向上への取り組み	飼育の安定化 新規餌の検討	個体数増加への取り組み	遮光材の検討と試行 試験的放虫の実施
平成29年度	飼育の安定化 新規餌の検討	飼育の安定化 個体数増加への取り組み	個体数増加への取り組み	小規模でのホタル観賞の試行
平成30年度	『ホタルのタベ』開催		個体数増加への取り組み	『ホタルのタベ』開催

(5) 観察展示室「水族展示エリア」「両生類爬虫類の世界」の水槽改修について

今年度は経年劣化により破損の危険性が高い水槽群(円柱水槽、アーチャーフィッシュ水槽、カプトガニ水槽、サカサナマス水槽、擬態水槽、両生爬虫類の世界)を撤去し、新規水槽の展示立ち上げおよび既存水槽の展示変更を行いました。

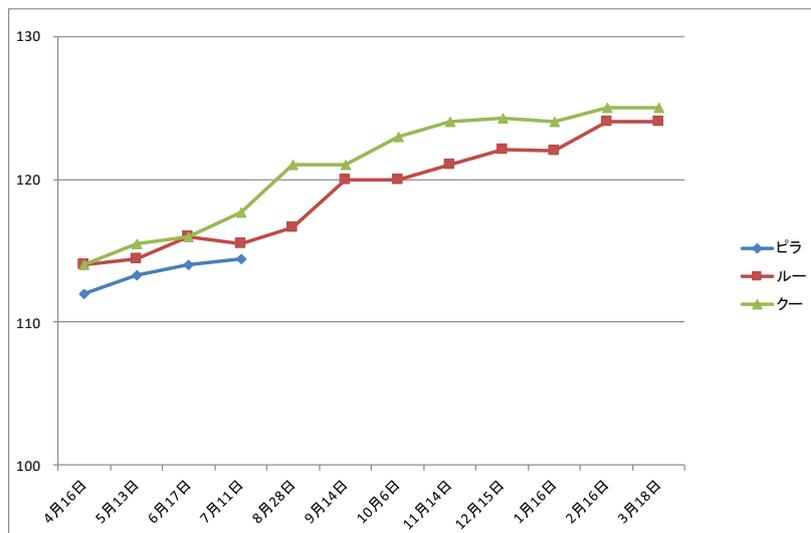
「水族展示エリア」では、新たに設置した水槽や既存水槽のレイアウトを変えることで、河口のマングローブ域から浅海域の特徴的な環境(岩礁、アマモ場、サンゴ礁)と、連続的な自然界の環境を再現しました。

「両生類爬虫類の世界」では多様な環境に生息する爬虫類たちをテーマに、豊かな熱帯の環境を再現し、さまざまな生態を展示できるように展示を変更しました。今年度は展示内のレイアウトや生体の展示準備を行い、来年度公開の予定です。

(6) ピラルクーの成長実績

昨年度からの成長は平均 12cm で、昨年度に比べて胴回りがしっかりと太くなり、立派になった印象を受けます。また昨年度 4 月から開始したピラルクーの餌やりプログラムでは成長と共に迫力ある音を出して来園者を楽しませています。また、3 個体のうちの 1 個体ピラに関しては 8 月 11 日に死亡しているのが確認されました。原因が水槽からの飛び出しだったため、再発防止のため、水槽上部にネットを張りなどの対策を行いました。

ピラルクーの成長記録



(7) ヤドクガエル類の繁殖成功

今年度はヤドクガエル類の繁殖に成功し、卵から成体までの成長に関して、一連の飼育技術が生物園で確立できたと考えられます。

また、2017年2月19日に、アクアパーク品川と生体交換を行いました。生物園からは繁殖したヤドクガエル類を搬出、アクアパーク品川からはクラゲ類を提供いただきました。今後はヤドクガエル類以外の飼育生体の繁殖にも取り組むとともに、他園館と積極的な交流を行うことで生体の飼育・繁殖技術の向上も行っていきたいと考えています。



(8) チャボの新規導入

ふれあいコーナー（オーストラリアドーム）の新規導入種として、チャボを購入しました。平成28年の干支が酉年ということもあり導入しました、鳥インフルエンザの為、冬季の公開は控え、来年度以降展示やイベントで活用していきます。



(9) 鳥インフルエンザ対応

今シーズンは、全国的に高病原性鳥インフルエンザの発生が見られました。特徴的なのは、初めて動物園で飼育されている鳥類が感染したことで、これにより日本動物園水族館協会（JAZA）としても加盟園館の対策状況などの調査に乗り出しました。

足立区生物園においては、飼育動物の健康管理と入園者及び職員に対する「人と動物の共通感染症」対策として、通常時より衛生管理と危険防止についての細心の注意を払っています。特に、高病原性インフルエンザに関しては、感染症としての重要性や社会的な影響を考慮し、飼育している鳥類への感染防止、入園者及び職員への感染防止、また園内発生時の感染拡大防止のために、適切な対応をとる必要性があると考えています。

今年度は、そのためマニュアルを作成し、鳥インフルエンザの発生エリアに対しての対応レベルを設定して、防疫対策を講ずるものとなりました。

- ・レベル0「海外発生」：情報収集、発生地への渡航自粛
- ・レベル1「国内発生」：野鳥・飼養鳥の観察強化、普及啓発、発生地への旅行自粛など
- ・レベル2「首都圏発生」：消毒の徹底、プログラム一部中止、鳥類展示方法変更など
- ・レベル3「都内発生」：飼育員の制限、鳥類展示中止、隔離飼育など
- ・レベル4「区内発生」：消毒強化、車両消毒の徹底、立入禁止区域の検討など
- ・レベル5「園内発生」：園内消毒、立入禁止区域設置、閉園、未発症の飼養鳥対応など

今シーズン生物園では、11月中旬に北海道、秋田、鹿児島などで相次いで鳥インフルエンザが発生したため、レベル1「国内発生」の対応を取りました。また、12月7日に茨城

県での発生が確定されたため、12月10日からレベル2「首都圏発生」に引き上げました。更に2月3日に足立区内で回収されたオナガガモの死亡個体から鳥インフルエンザウィルスが検出されたとの東京都の発表を受け、2月8日からレベル4「区内発生」の対応を取ることとしました。

今回極めて円滑な対応ができたのは、本共同体の専門技術や見識の深さによるものであるとともに、連携している東武動物公園の協力、JAZA 加盟園館の間での情報共有などが大きく役立ちました。また大流行を起こす可能性がある感染症対策には、今後更に準備、対策を進めていく必要があると考えています。

第三章 施設維持管理業務

I 元湊江公園の維持管理業務

1. 公園管理上の留意事項

本共同体は、元湊江公園の維持管理業務を遂行するにあたり、「元湊江公園・生物園管理運営業務仕様書」に基づき、以下の点に留意し、適正かつ、適切な公園の維持管理に努めました。

- 日常及び定期的な施設の点検と修繕、清掃などの保守管理を適切に行うとともに、遊具や工作物の故障、台風や降雪等、休園日・夜間においても緊急時に迅速に対応できる体制を確保すること。
- 公園内の見回りを行い、他の公園利用者や近隣住民等の迷惑や危険となる行為については、適正かつ安全な利用を行うよう指導すること。
(特に喫煙や犬のノーリード、バイクの乗り入れなど)
- 不審者・不審物の発見に努め、不法占拠等、不適切な利用が確認された場合は、公園管理者として撤去、退去を指導すると共に、必要に応じて区と協議し、必要な措置をとること。

2. 公園維持管理業務の主な内容

① 公園内清掃作業

園内は毎日、拾い清掃や掃き清掃を適宜組み合わせて行いました。園路・広場、園地の清掃を行い、常に園内をきれいな状態に保つことに努めました。公園外周道路の落葉やゴミについても清掃範囲にふくむものとし、定期的に外周清掃を行いました。またトイレは毎日水洗いを行い、衛生面に配慮した清掃を行いました。ゴミは分別を行ったうえで所定箇所に集積し、適切に処理をしました。その他公園入口の噴水モニュメントや排水口など、適宜高圧洗浄等を行い、美観の保持に努めました。

② 樹木管理

来園者の安全を最優先事項とし、枯枝の有無を日常的に点検し、発見次第速やかに撤去を行いました。樹木の剪定や刈り込み時は、樹木特性に応じて最も適切な時期と方法で行いました。高木に関しては定期的に高所作業車を使用し剪定や間引き作業を行いました。また再委託での作業となりましたが、樹木の伐採や切り株の抜根を行い、他の樹木の生育を妨げることのないように計画的な管理を行いました。園内で発生した剪定枝等は定期的にチップ化して遊具広場を中心に敷き均すなど園内リサイクルに努めました。

③ 病虫害防除及びカラスの巣撤去

病虫害防除にあたっては早期発見に努め、剪定防除、補殺等により行いました。定期的に点検を行ったので、薬剤を使用する必要はありませんでした。

カラスの巣を撤去する場合は、東京都に鳥獣捕獲申請を行い、鳥獣保護法を遵守し、対応しました。なるべく産卵前に行い、産卵後は注意看板を設置して被害防止措置を講じ、早期に対応しました。卵、ヒナの撤去は必要最小限に留めました。

④ 植込み地及び草地管理

公園利用者の憩いと安全に配慮し、定期的に除草、草刈りを行いました。草地広場のうち、草地Aについては年5回程度均一に機械刈りを行い、草地Bについては、半面ずつ交互に刈込み、「いきもの原っぱ」として昆虫などが生息出来る環境づくりに努めました。半面を交互に年5回機械刈りを行いました。また草地A、B以外の草地については、年5回程度均一に機械刈りまたは除草を行いました。(図1参照)。刈草は基本的には刈放しとしましたが、状況に応じ場外処分としました。A、B以外の草地は公園利用者の利用状況やイベントに合わせた作業を行いました。



(図1)

⑤ 花壇管理

公園正面の花壇及びに庭園内プランターは、季節に応じて年間3回、草花の植付けを行いました。定期的に花柄摘みや灌水をボランティアさんと一緒に行い、景観の維持に努めました。公園正面入口、来園者の方を迎え入れるスペースとして、花の色は華やかなものを選び、植え付けました。また来園者から草花の名前が知りたいとの要望がありましたので、種名板を設置しました。

⑥ 遊具点検

月1回、定期的を目視、触診等による遊具及び工作物の点検を行い、ボルトナットの増し締め、グリスアップ、遊具の汚れ、消耗部品の交換を行いました。また毎日の遊具広場の清掃作業時も目視による点検を行い、安全管理を心掛けました。その他年1回、区が委託する専門業者による点検を行い、点検結果に従い速やかに修繕、取替えを行いました。

⑦ つり池清掃・釣り池噴水装置点検

水面のゴミや落葉等を網等で随時除去しました。鯉、鮒の死亡数、水温を毎日記録し、月報に添付し報告しました。また釣り池内に設置してある循環ポンプも適宜清掃点検を行いました。

※元湊江公園の維持管理作業の詳細については、月報をご参照ください。ここでは、実施した作業を一覧表「平成28年度施設維持管理業務報告（元湊江公園）」でご報告させていただきます。また、共同体直営作業のうち主なものを写真でご報告することとします。

3. 平成 28 年度 施設管理業務実施報告（元湊江公園）

作業内容	実施回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		公園維持管理											
公園内清掃	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
噴水モニュメント高圧洗浄	適宜		23日										
樹木剪定	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
枯枝撤去	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
落葉清掃	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
剪定枝・枯れ枝・チップ化	適宜	25・26・27日			24・25日					5日			
病害虫駆除	適宜		適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜					
カラスの巣 撤去	適宜	適宜	適宜										
除草	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
花壇植栽・管理	適宜	除草 27日	12日・適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	8日・適宜	適宜	適宜	適宜
釣り池 清掃	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
釣り池 噴水装置清掃	適宜		13日							16日		2日	
公園内 補修	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
スミラブ発砲錠投与	8回												
遊具日常点検	12回	27日	26日	28日	29日	31日	30日	29日					
公園機械設備 中継セルサービス	1回	27日	31日	28日	29日	31日	30日	31日	30日	29日	31日	28日	31日
公園照明巡回点検	2回				30日					31日		2日	
		計画	適宜	適宜	除草	実行	実行	実行	実行	実行	実行	実行	実行

4. 公園維持管理作業の様子

■公園内清掃作業

落葉、ゴミ、トイレなどの清掃作業 公園外周の清掃 排水口の清掃など



■噴水モニュメント高圧洗浄

高圧洗浄機を使用しての洗浄作業 噴水雨水ピットの清掃



■ 樹木剪定

樹木の特徴に合わせて適期に剪定作業を行う。樹木の大きさによっては高所作業車を使用した。



■ 枯枝撤去

日常の巡回作業を行い、発見次第随時対応した。



■剪定枝・枯枝・チップ化

公園内で発生した剪定枝や枯枝をチップ化して公園内に敷きならす。緑のリサイクルを実行した。



■カラスの巣撤去

枯枝の点検と同じく日常点検を行い、発見次第対処した。



■ 除草

刈払機や手作業での除草作業



■ 花壇植栽・管理

年間3回の植え替え作業を実地した。日常管理として花柄摘みや灌水作業などを行い維持管理に努めた。



■遊具日常点検

毎月 1 回定期遊具点検の対応



■釣り池 噴水装置清掃

釣り池内の噴水の洗浄を行った。状態を確認しながら水中ポンプを解体し清掃を行った。



■公園内 補修

日常点検を行い修繕の対応を行った。



■スミラブ発砲錠投与

4月から10月まで毎月1回投与を行った。(2錠/箇所)



Ⅱ 生物園の維持管理業務

1. 生物園維持管理業務の内容

① 館内清掃

利用者が施設を気持ちよく利用できるよう、定期清掃、日常清掃、メンテナンスを計画的に実施し、常に館内の美化及び衛生管理に努めた。

② 植物管理

各種熱帯植物や雑木、野草、水生植物等についてその特性や生態的役割について十分理解し、剪定、除草、間引き、補植等必要な作業を適宜行った。また来園者が生物を安全に観察しやすいように管理を行った。

③ 機械設備

日常及び定期的な施設点検を行い、施設及び工作物の適正な維持管理に努めた。毎日温度や機械数値のデータを観測し、異常の有無を早期発見出来るようにして施設の異常が発見された場合は、速やかに修繕し対応した。

維持管理の仕様は、特記仕様書のほか東京都建設局「設備保守標準仕様書」及び「足立区維持保全業務標準仕様書」に基づき実施した。

※生物園の維持管理作業の詳細については、月報をご参照ください。ここでは、実施した作業を一覧表「平成28年度施設維持管理業務報告（生物園）」でご報告させていただきます。また、共同体直営作業のうち主なものを写真でご報告することとします。

2. 平成 28 年度 施設管理業務実施報告（生物園）

作業内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
館内清掃	実施回数												
定期清掃 丸三興業	6回	11日		13日		29日		11日	14日	12日		13日	
大温室ガラス清掃 パシフィックエール	1回	4月19日											
除塵	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
各所水拭き・洗剤拭き	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
ゴミ収取	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
消耗品補充	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
植物管理		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
散水	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
剪定	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
除草	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
間引き	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
補植・植替等	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
機械設備		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エレベーター	毎日【遠隔監視】	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
	毎月【遠隔診断】	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日
日立ビルシステム	4回【有人点検】	18日			4日			17日			16日		
自動ドア サブシステム	2回						26日						6日
消防用設備 上野消防	2回						12日						16日
機械警備 セコム	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
自家用電気工作物 野山電気	毎月	9日	8日	12日	12日	11日	9日	10日	12日	10日	8日	11日	11日
吸収式冷温水機(ガス焚) 摩前ビルサービス	2回			16日					17日	11月に変更			
温水ボイラー 摩前ビルサービス	3回						27日				25日		31日
湧水・排水槽 摩前ビルサービス	1回			16日									
電話 摩前ビルサービス	2回				12日						25日		
自動制御設備総合点検 摩前ビルサービス	1回											2日	
環境測定 摩前ビルサービス	6回		18日		12日		27日		17日		25日		31日
グリストラップ 丸三興業	3回			27日				31日				17日	
第二種 ヘッター	1回							20日					
第二種 密閉式膨脹タンク	1回				23日								
ポンプ類	1回					20日							
空調調和機 AHU	2回					21日					27日		
ファンコンベクター 19基	2回					31日					28日		
エアコン 空調機 24基	2回					9月に変更	27日				27日		
排気ファン	1回										2月に変更	28日	
加熱冷却ユニット	2回				30日			21日					
ポンプ類(雑)	1回							21日					
天窓・自動	1回									28日			
フィルター洗浄	6回	5月に変更	8日	24日		31日		26日		24日		25日	
クーリングタワー	4回	17日			23日		30日		30日				
定期巡回点検	毎月	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日
塩素除去装置	4回			23日			30日			20日			31日

3. 生物園維持管理作業の様子

■各所水拭き、洗剤拭き

モップによる水拭き、洗剤を用いたのポリッシャー掛け、高圧洗浄など



■ゴミ収取、消耗品補充

毎日の基本作業



■除塵、清掃作業

館内、庭園内、大温室のゴミの清掃



■除草

庭園や食草温室周りの除草作業



■ 灌水

大温室、庭園、食草温室の灌水作業 スプリンクラーが届かない部分の手灌水。



■ 剪定作業

大温室や庭園の剪定作業 閉園後や休園日に作業を行いチョウなどの昆虫に適した環境を創り出す。



■間引き、植え替え

食草温室や大温室での間引き作業や植え替え作業

